



町民等の外出状況・意識等



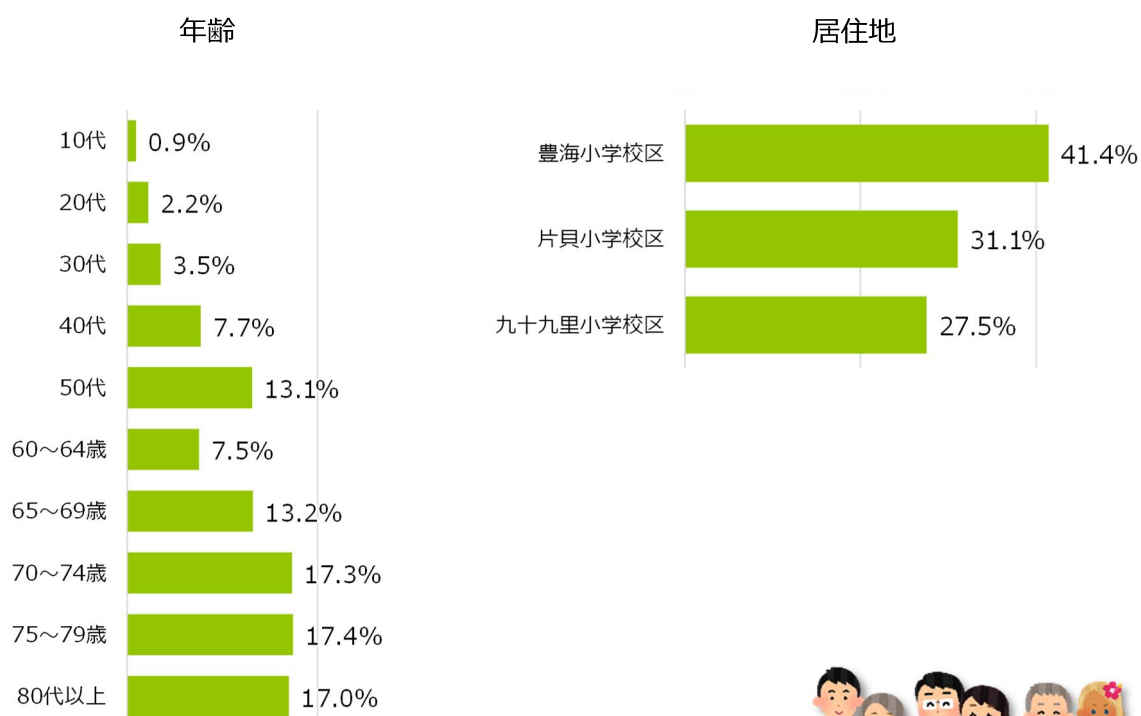
町民等の外出や利用交通手段、意識の状況などを把握するため、町民やバス・タクシー利用者、観光客へのアンケートを行いました。以下に結果の概要を示します。

1. 町民へのアンケート

1-1. 調査の実施概要

- 【調査対象】 九十九里町民（15歳以上）から、3000人を無作為抽出
- 【調査期間】 令和5年（2023年）10月～11月（予定より期間を延長）
- 【調査方法】 郵送配布、郵送回収
- 【回答者数】 1167人（回収率39%）

《このアンケートの回答者》

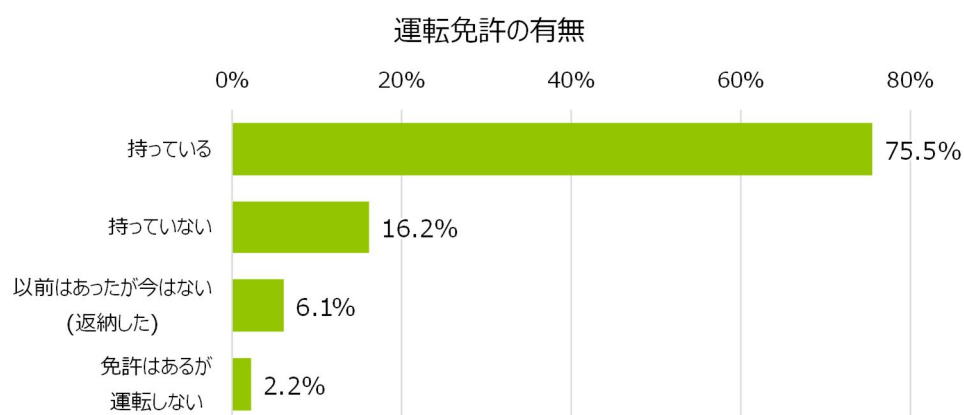


1-2. 主な調査結果

《外出手段の状況》

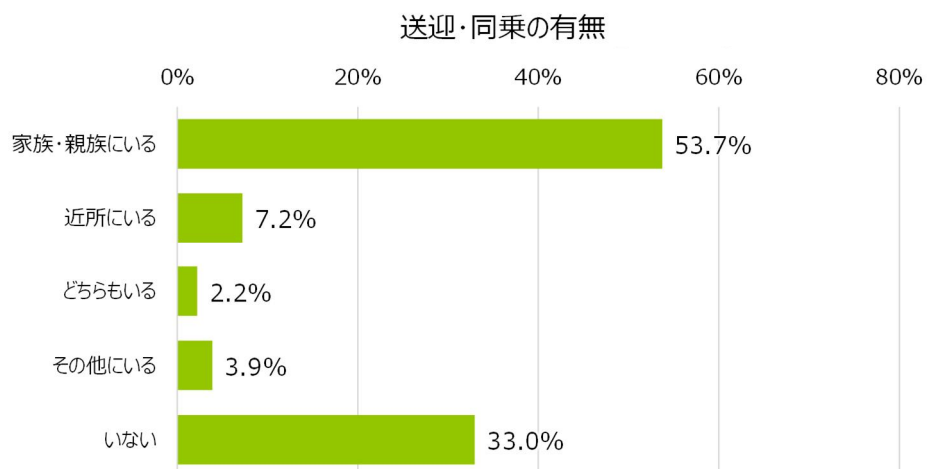
(1) 運転免許の保有状況

- 回答者（町民）のうち、7割以上が運転免許を持っており、クルマを運転している状況です。



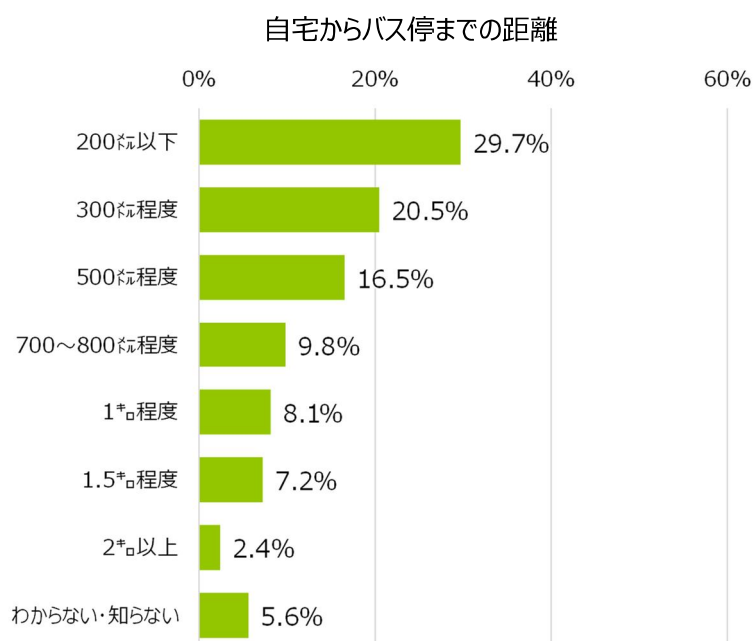
(2) 送迎者等の有無

- 運転免許がないまたは運転しない回答者のうち、クルマでの送迎・同乗を頼める人のいない回答者が3割程度となっています。

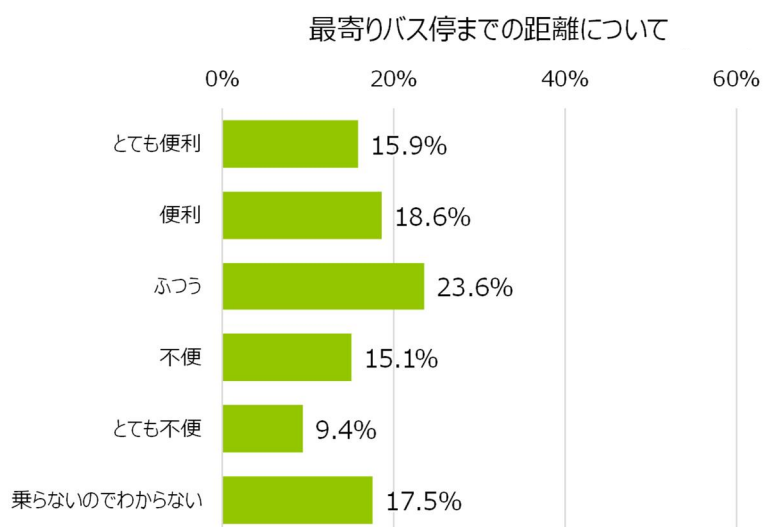


(3) 自宅からバス停までの距離

- 自宅からバス停までの距離が300m程度までの回答者が計5割であり、500m程度まで含めると計7割程度となっています。

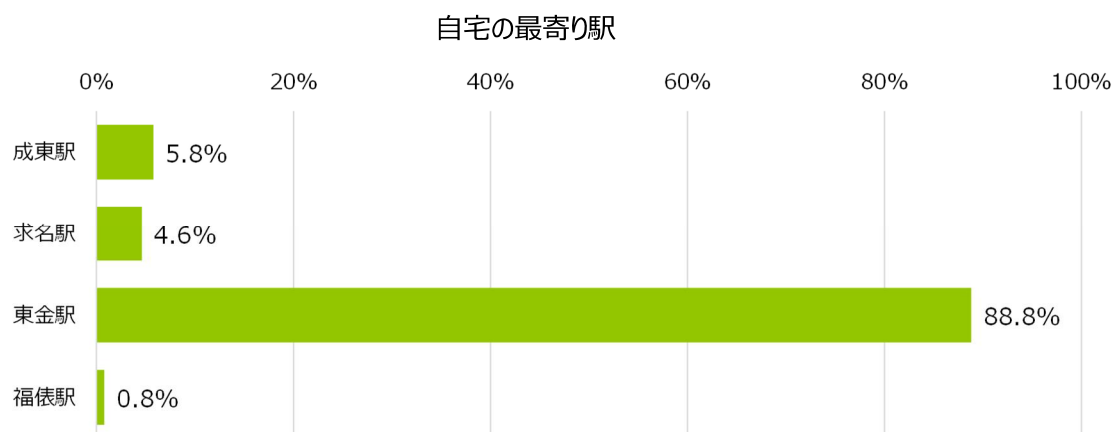


- 最寄りのバス停までの距離について、とても便利・便利と感じる回答者が3割強にとどまっています。このことから、バス停が比較的近い場所にあっても不便と感じる回答者が少なくないものと見受けられます。
- また、乗らないので（便利か不便か）わからないとの回答が2割程度あります。



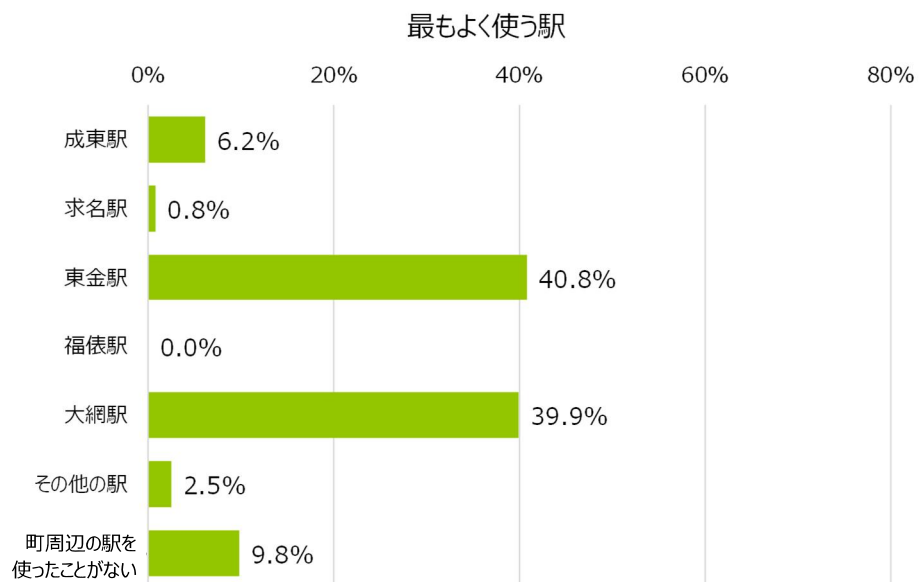
(4) 自宅の最寄り駅

● 回答者の最寄り駅は、9割が東金駅です。



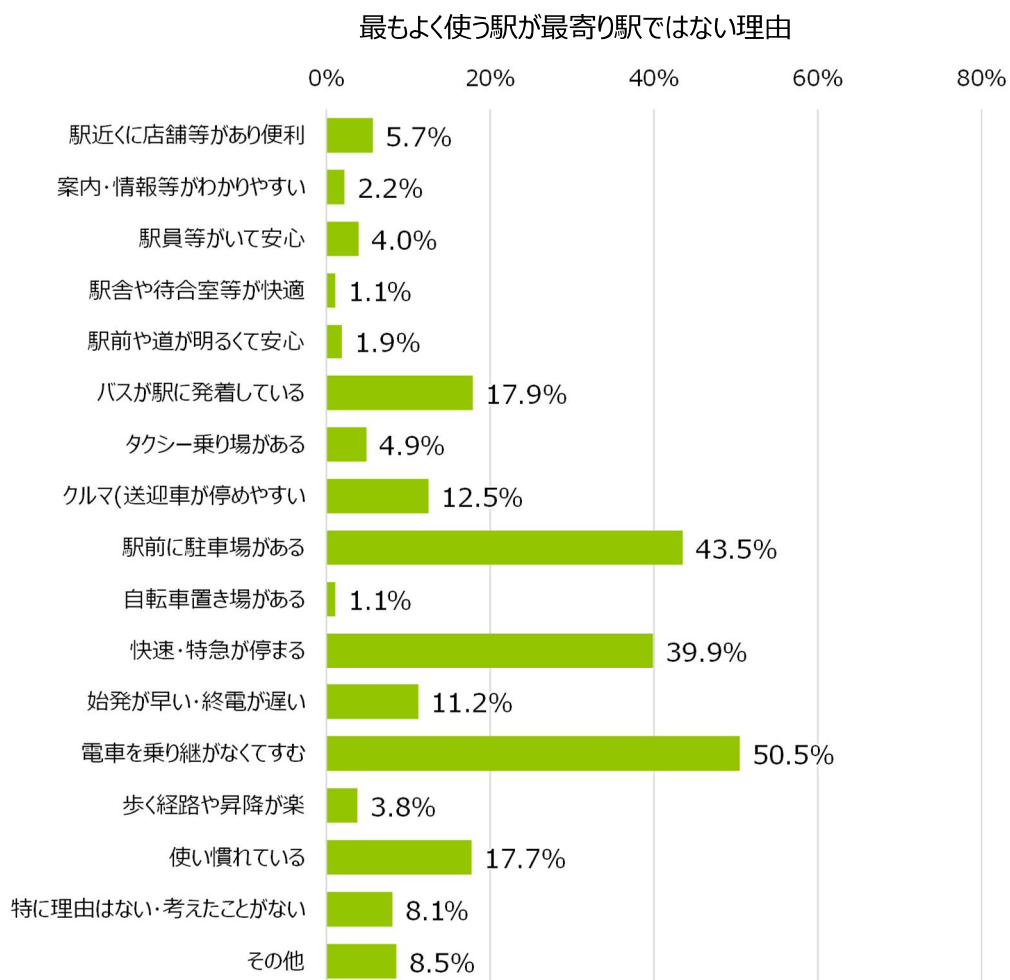
(5) 最もよく使う駅

● 東金駅と大網駅が最も多く使われている状況です。



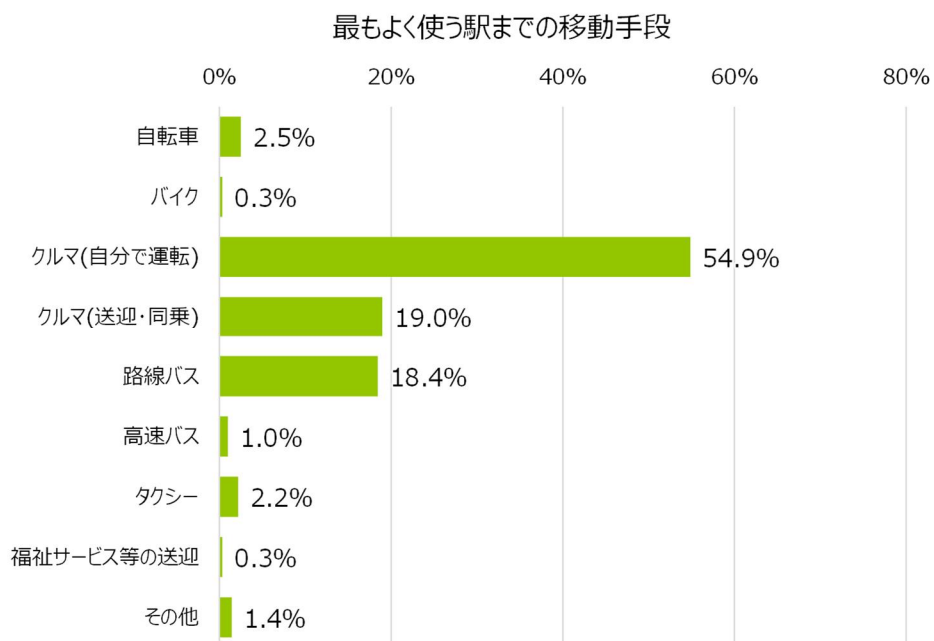
(6) 最もよく使う駅が最寄り駅ではない理由

- 最もよく使う駅が、最寄り駅ではないことについては、電車を乗り継がなくて済む、駅前に駐車場がある、快速・急行が停まるとの理由が特に多くなっています。主に、鉄道の利便性のほか、クルマの利便性の面から、使う駅が選択されています。



(7) 駅までのアクセス手段

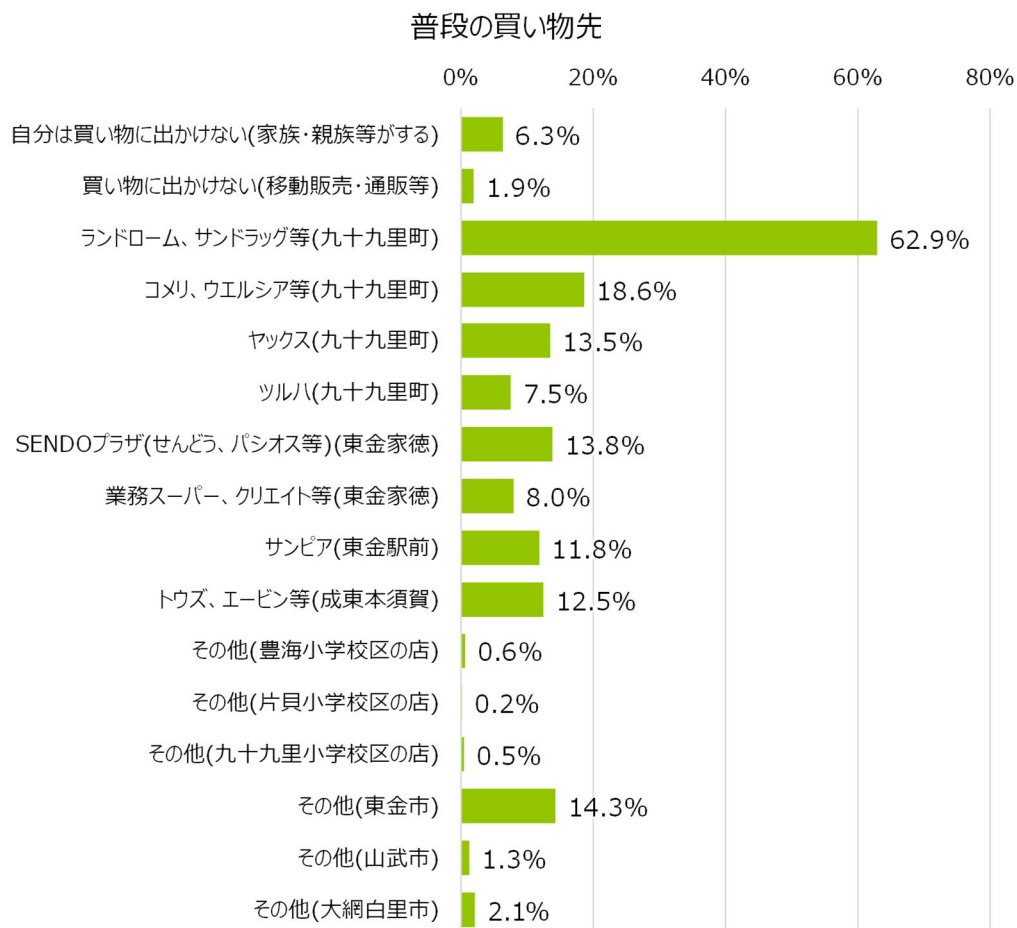
- 駅を使う場合のアクセス手段は、クルマ（自分で運転）が突出して多く、送迎・同乗を含めると、7割以上をクルマが占めています。
- 駅まで路線バスを利用する回答者は、2割程度で少ない状況です。



《ふだんの外出の状況》

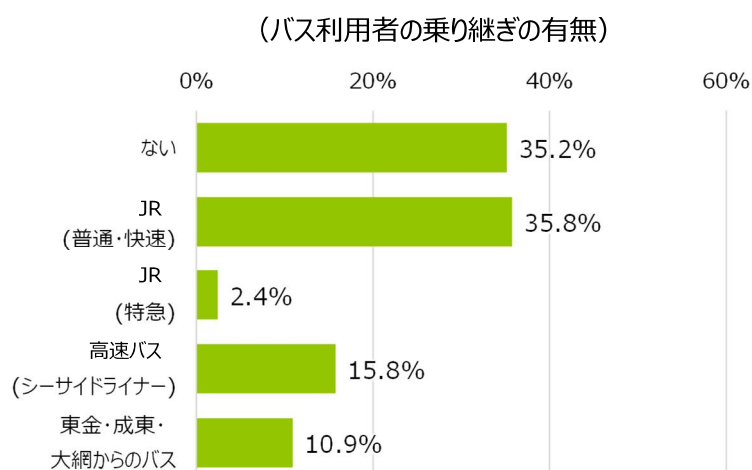
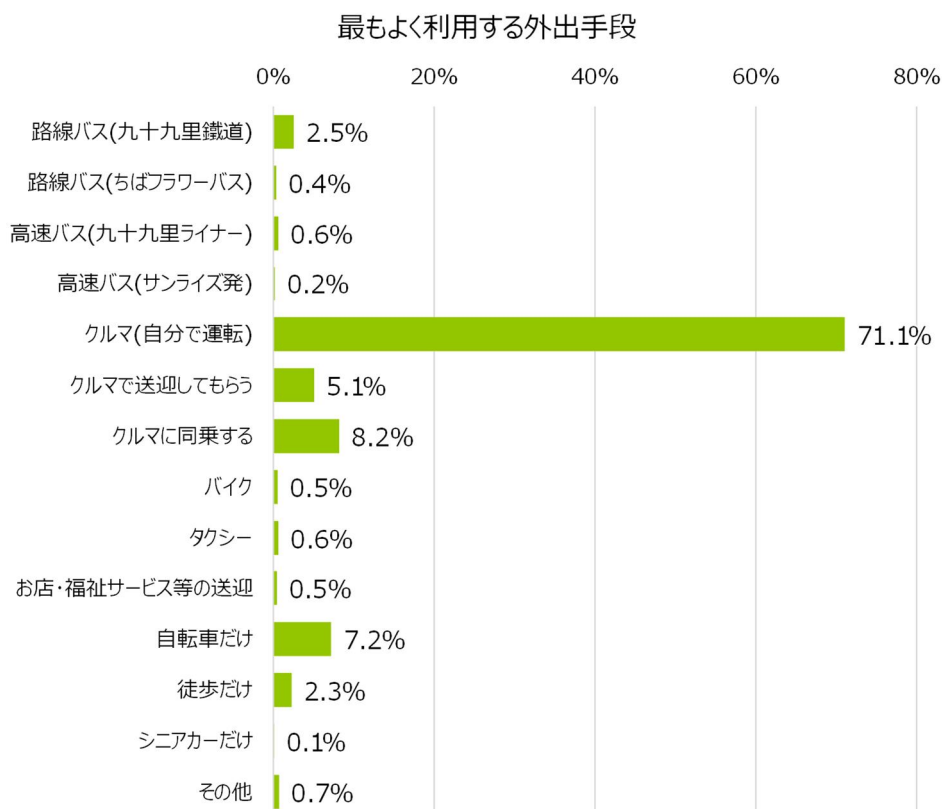
(1) ふだんの買い物先

- 回答者のふだんの買い物先は、ランドローム、コメリ・ウエルシア、ヤックスなど町内の店舗が多くを占めていますが、SENDO、サンピア、トウズ・エービンなど隣接市（東金市、山武市）の店舗に出かける回答者も少なくありません。



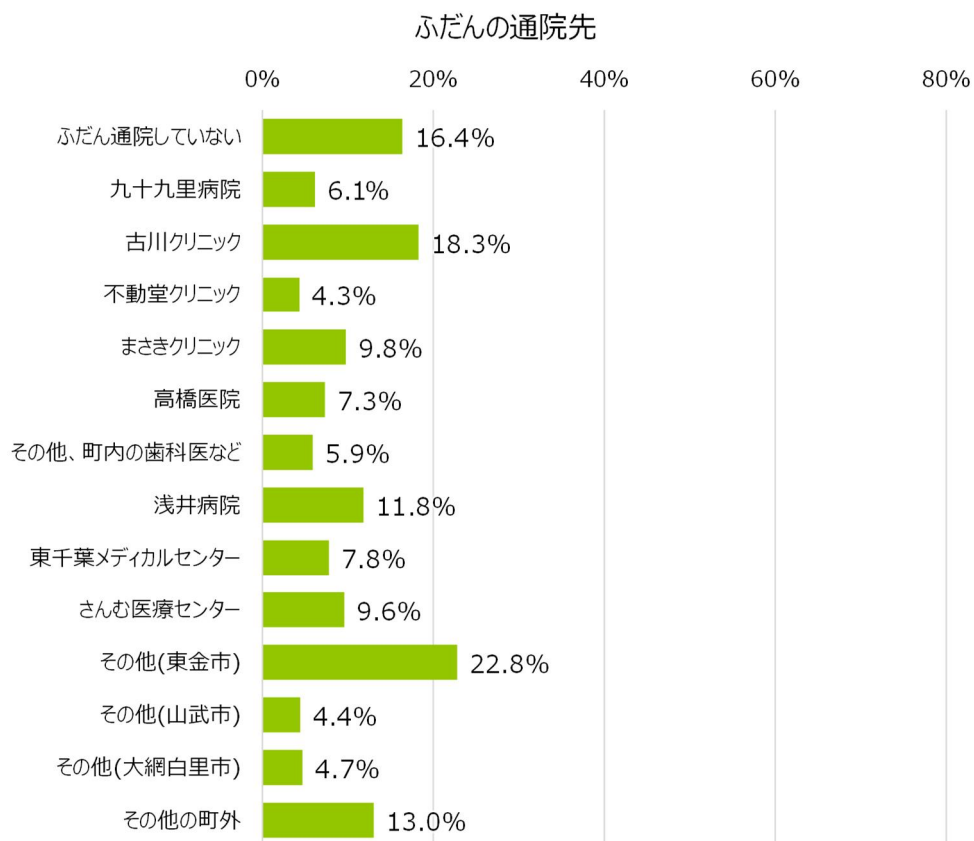
(2) ふだんの買い物の外出手段

- ふだんの買い物の外出手段は、クルマ（自分で運転）が約7割で突出して多くなっており、多くの町民がクルマ中心の外出スタイルとなっています。その他ではクルマ（送迎・同乗）、自転車が比較的多く、バスやタクシーの利用は少ないのが現状です。



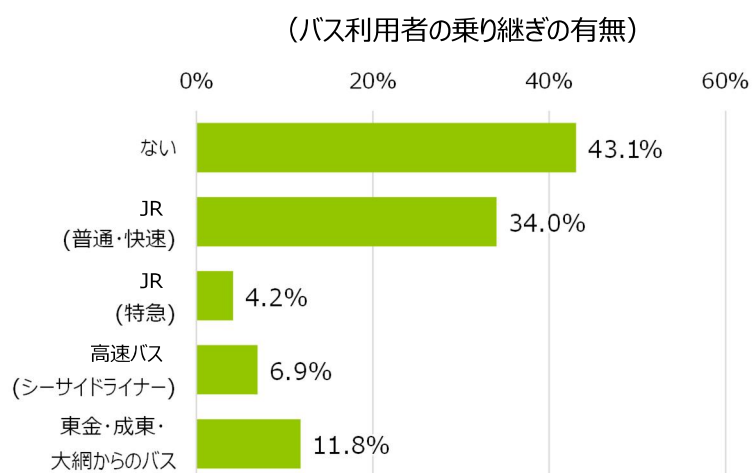
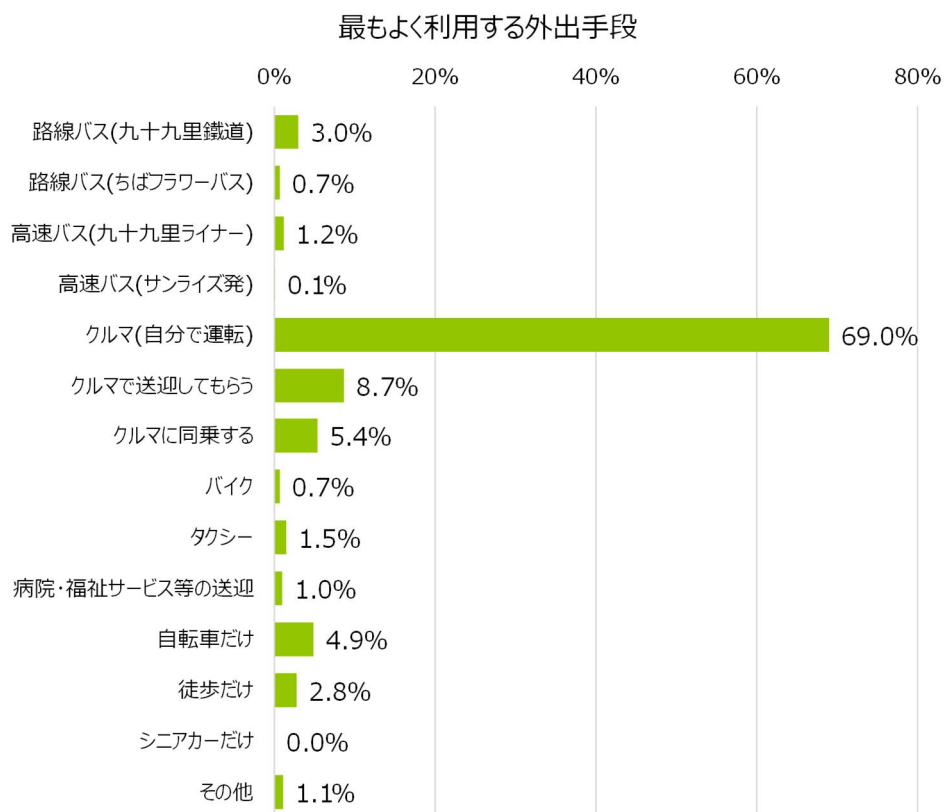
(3) ふだんの通院先

- ふだんの通院先は、町内のほか、隣接市（東金市、山武市等）などの多数の診療所、病院が挙げられています。



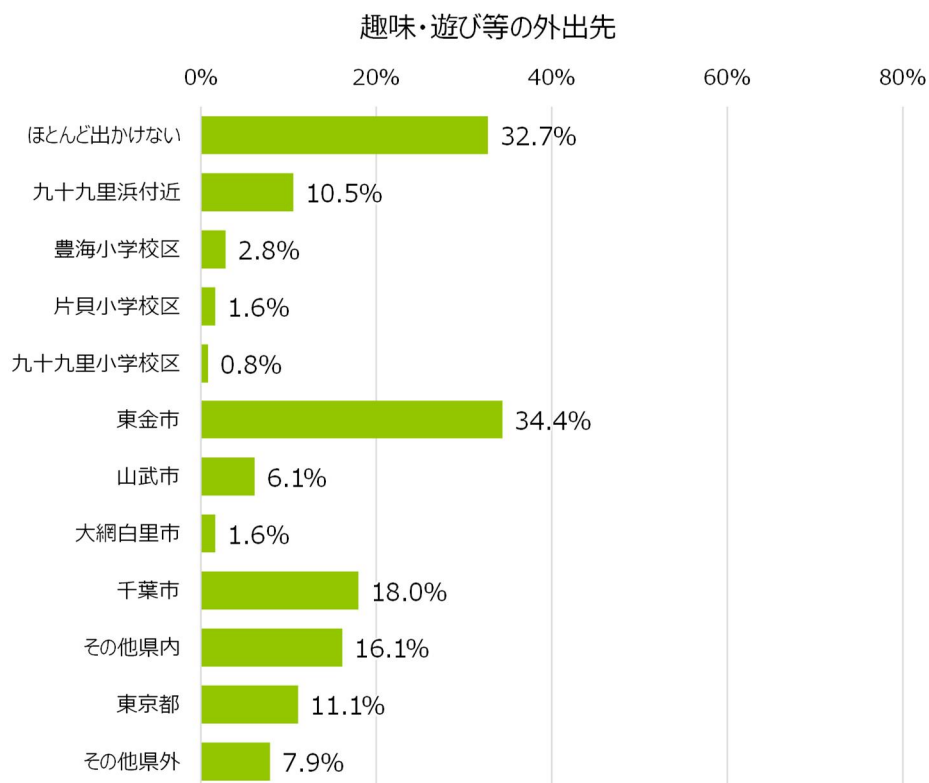
(4) ふだんの通院の外出手段

- 通院の外出手段も、クルマ（自分で運転）が約7割を占めています。その他でも、クルマ（送迎・同乗）、自転車が比較的多く、バスやタクシーの利用は少ない状況です。



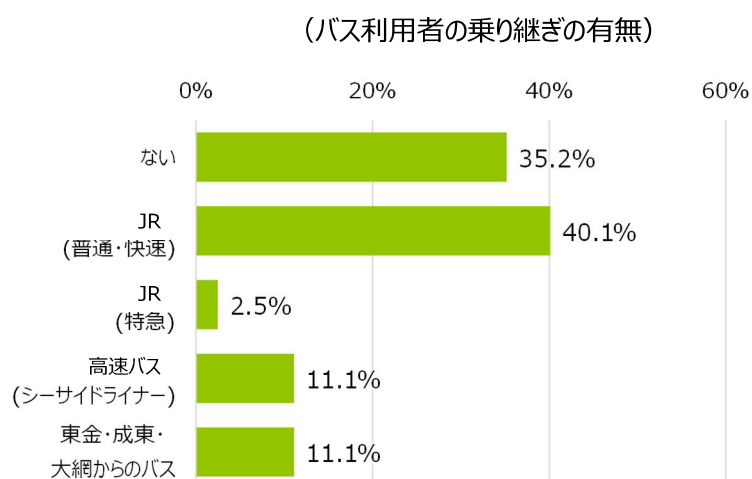
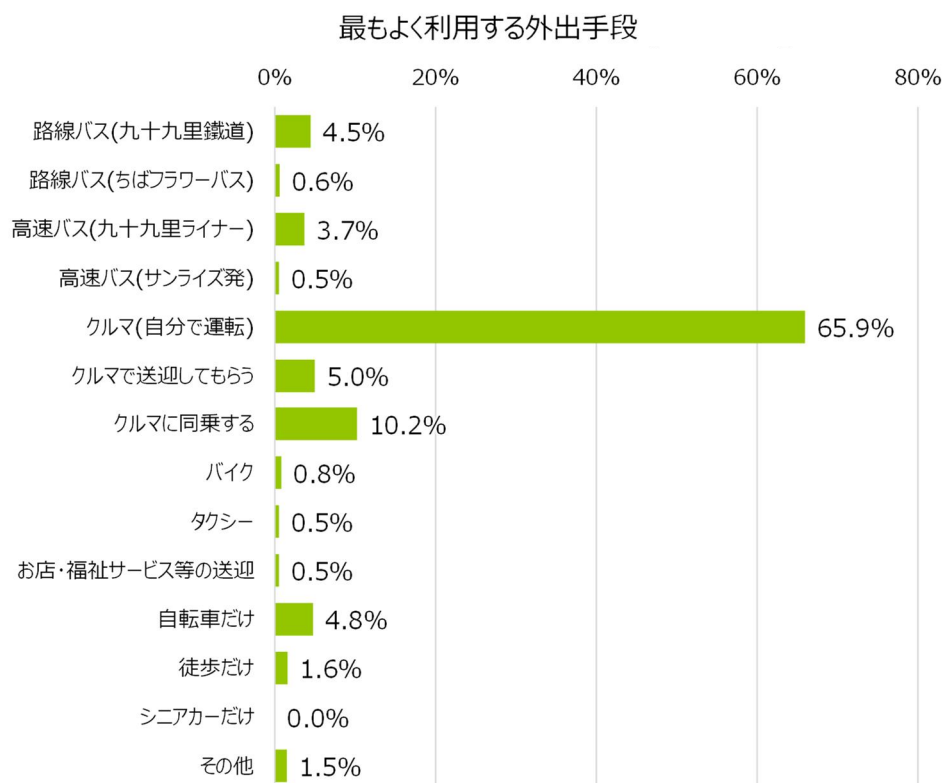
(5) 趣味・遊び等の外出先

- 趣味・遊び等での外出については、東金市へ出かける人と、ほとんど外出しない人が同程度で最も多くなっています。その他では、九十九里浜付近のほか、千葉市等の県内や東京都に出かける人も比較的多くなっています。



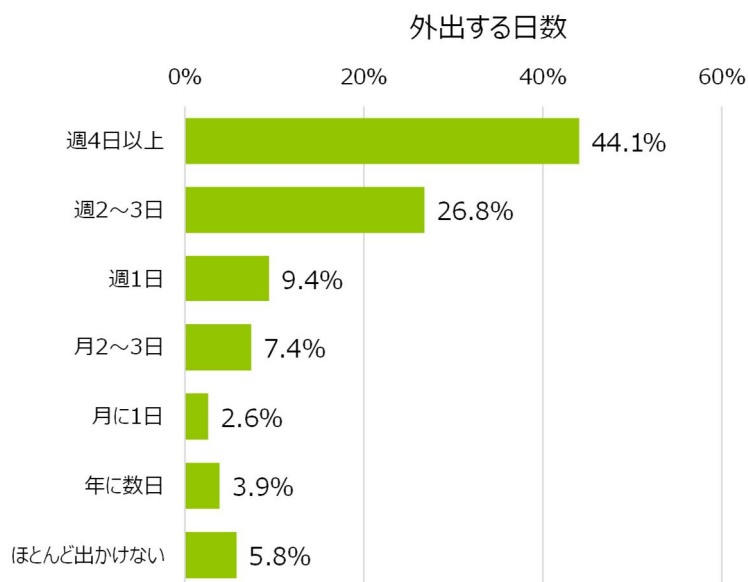
(6) 趣味・遊び等の外出手段

- 趣味・遊び等での外出についても、クルマ（自分で運転）が特に多くなっており、その他でも、クルマ（送迎・同乗）、自転車が比較的多い状況です。趣味・遊び等では、路線バス・高速バスを使う回答者が、買い物、通院と比較して若干多くなっています。



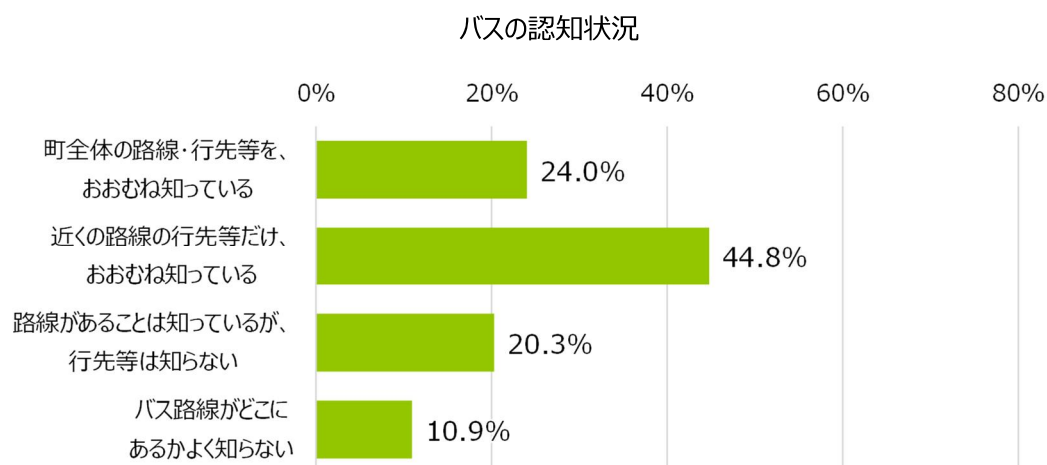
(7) 外出の頻度

- 回答者が乗り物等を利用して外出する頻度は、週4日以上が約4割で最も多く、週1日以上出かける人は計8割程度となっています。



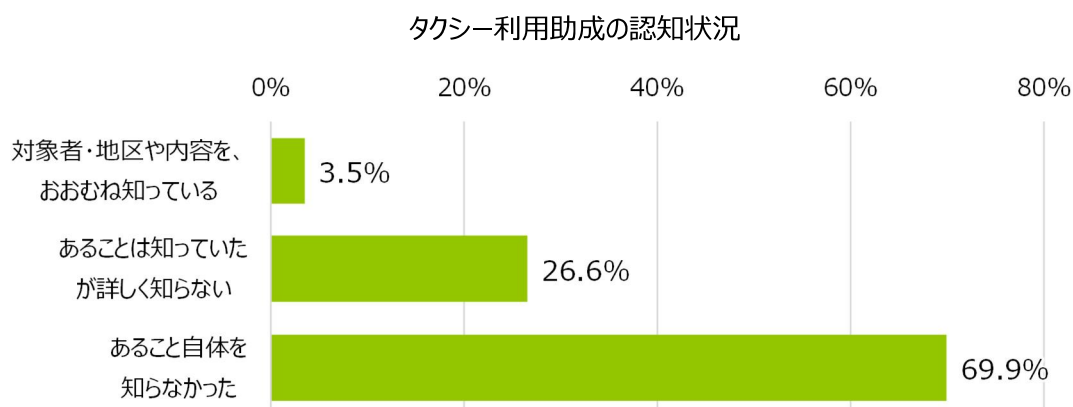
(8) バスの認知状況

- 本町の路線バス、高速バスについて、近くの路線だけを知っている回答者が最も多く、町全体の路線・行き先を知っている人は、2割程度にとどまっています。行先等を知らない人、路線がどこにあるか知らない人が計3割となっており、町内のバスの認知度は高くない状況です。



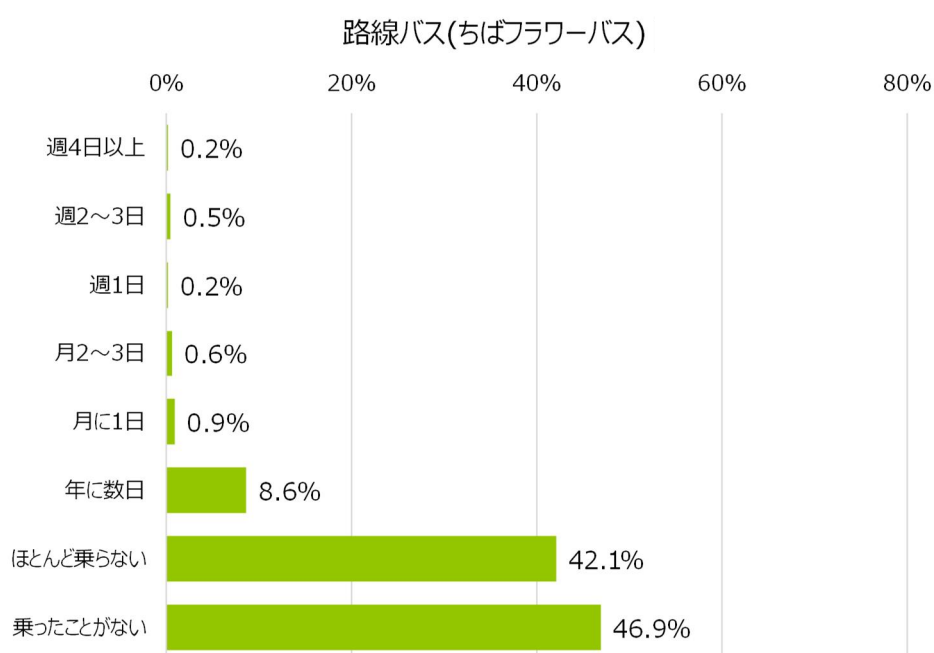
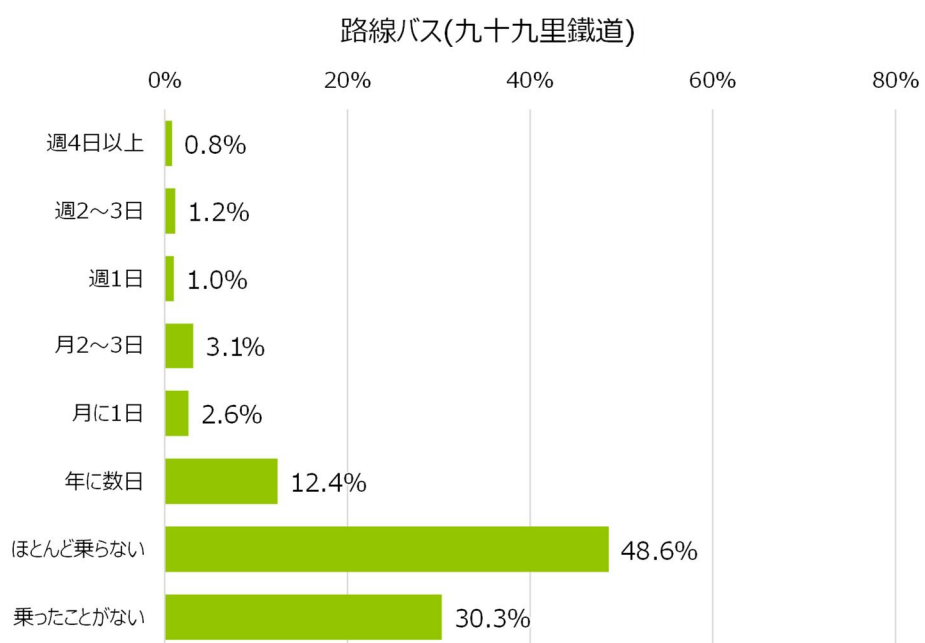
(9) タクシー利用助成（実証実験）の認知状況

- 現在、バス等の公共交通のない地区を対象に実証実験として行っているタクシー利用助成のことを詳しく知っている回答者は1割未満となっています。

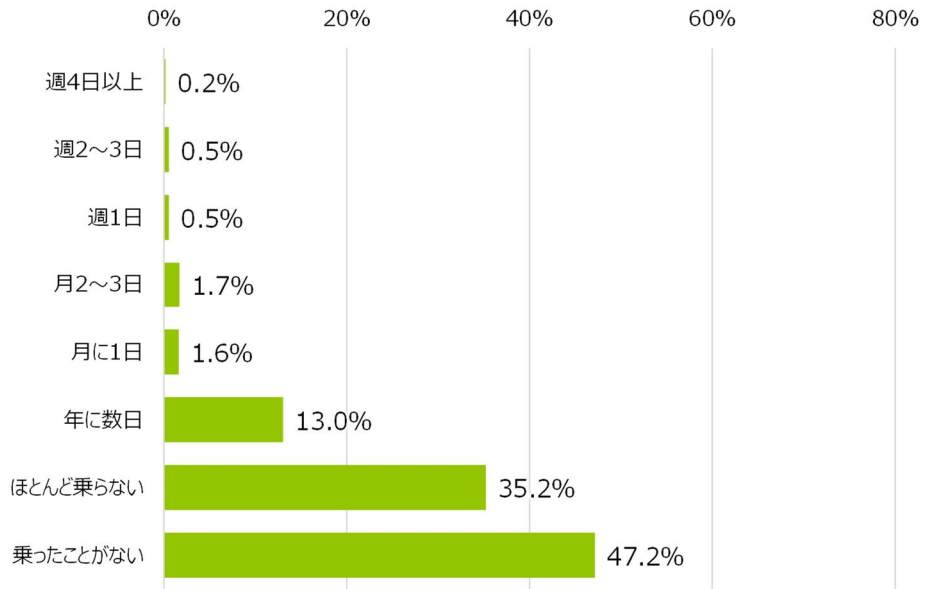


(10) 公共交通の利用頻度

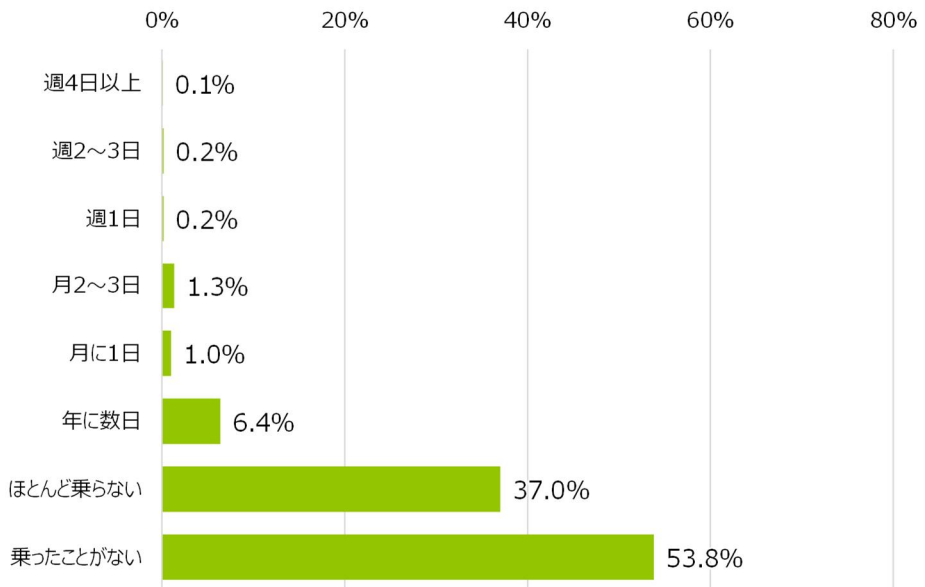
- 路線バスの利用頻度は、いずれも、ほとんど乗らない、乗ったことがないとの回答が計8割程度以上となっており、限られた人に利用されている状況です。高速バスについても、ほとんど乗らない、乗ったことがないとの回答が計8割程度となっていますが、年に数日利用する人が路線バスと同程度います。
- 町内のタクシーについては、ほとんど乗らない、乗ったことがないとの回答が計9割程度となっており、利用する人は、バスよりも限られているものと見受けられます。
- ただし、いずれのバス、タクシーも、利用者の中には週に複数日、利用する人がいます。



高速バス(九十九里ライナー、サンライズ発)

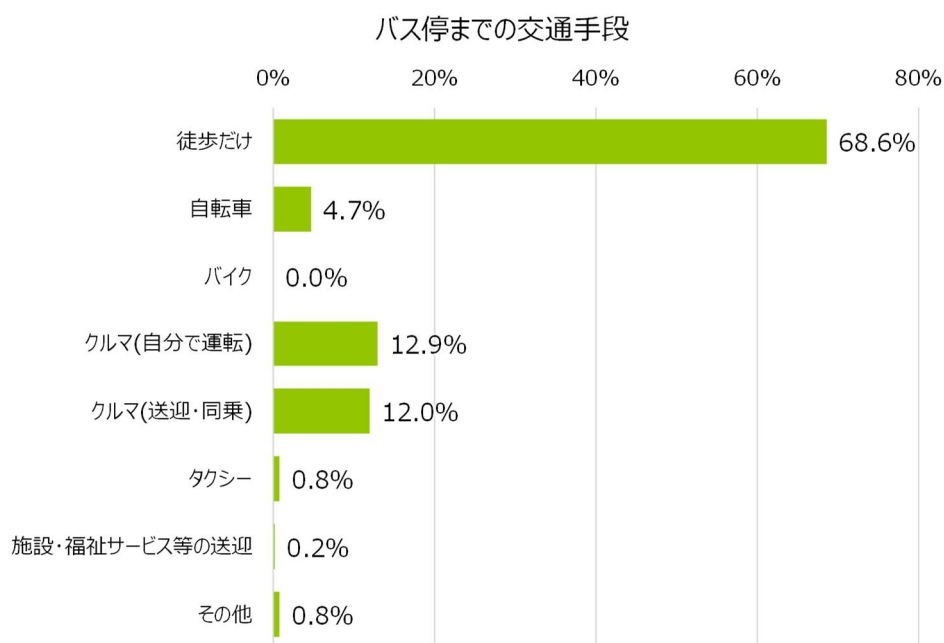


タクシー(片貝タクシー)



(11) バス停までのアクセス手段

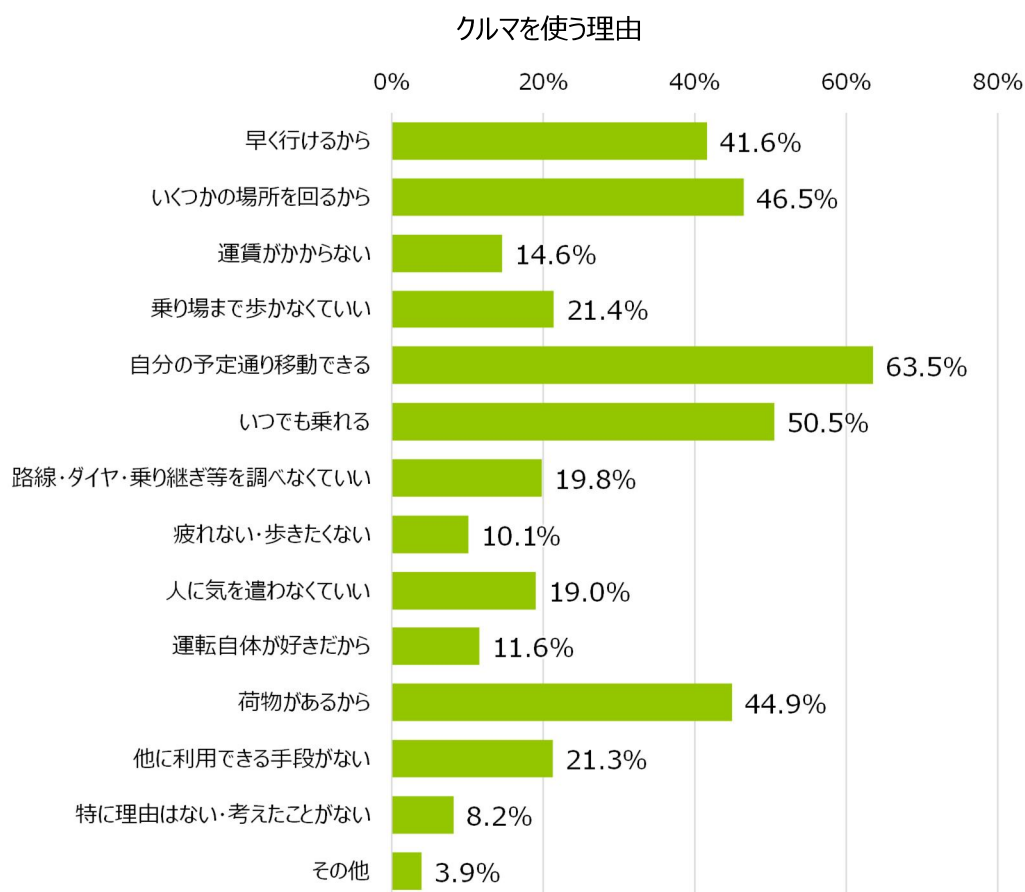
- バスを利用する人のバス停までのアクセス手段は、徒歩が突出して多くなっています。このことから、本町のバスは、主にバス停から徒歩圏に住む人に利用されているものと見受けられます。その他では、クルマ（運転、送迎・同乗）でバス停まで行く人が比較的多くなっています。



《外出手段についての意識等》

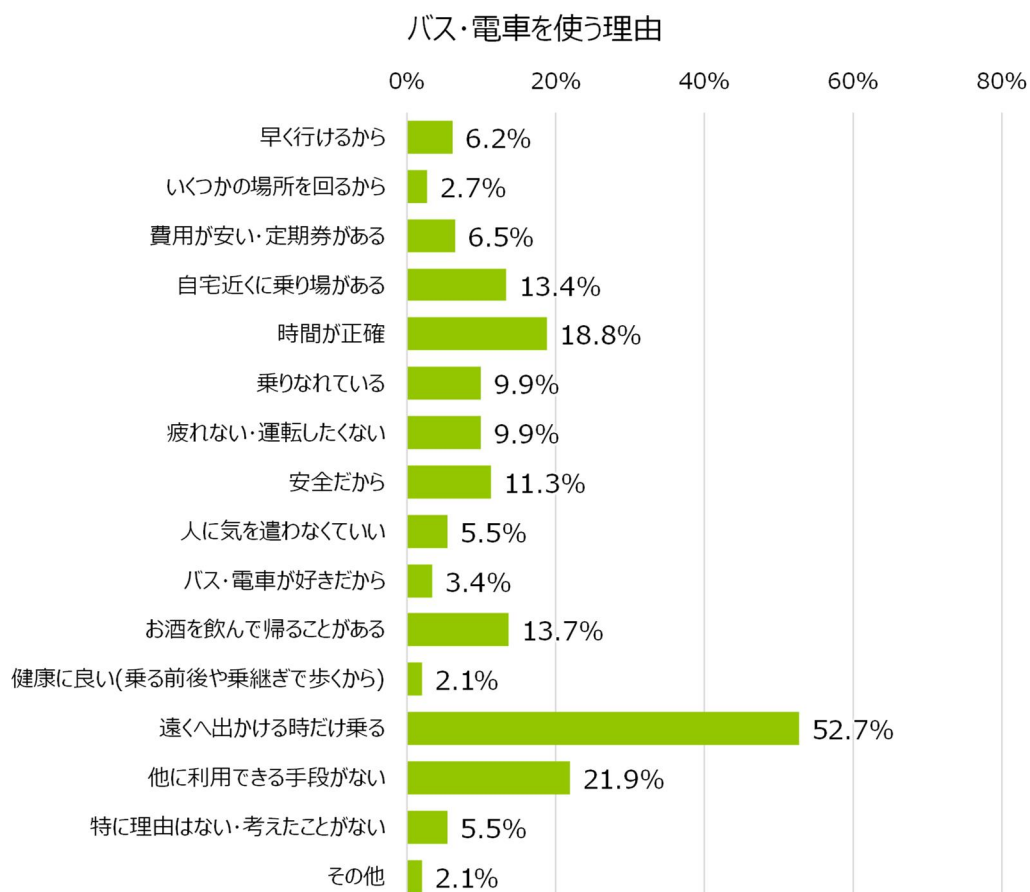
(1) 主にクルマを使う人の理由

- 主にクルマを利用する人の理由については、予定通り移動できる、いつでも乗れる、いくつかの場所を回るといった随意性の理由が多くなっています。その他では、荷物がある、早く行けるという理由が多くなっています。



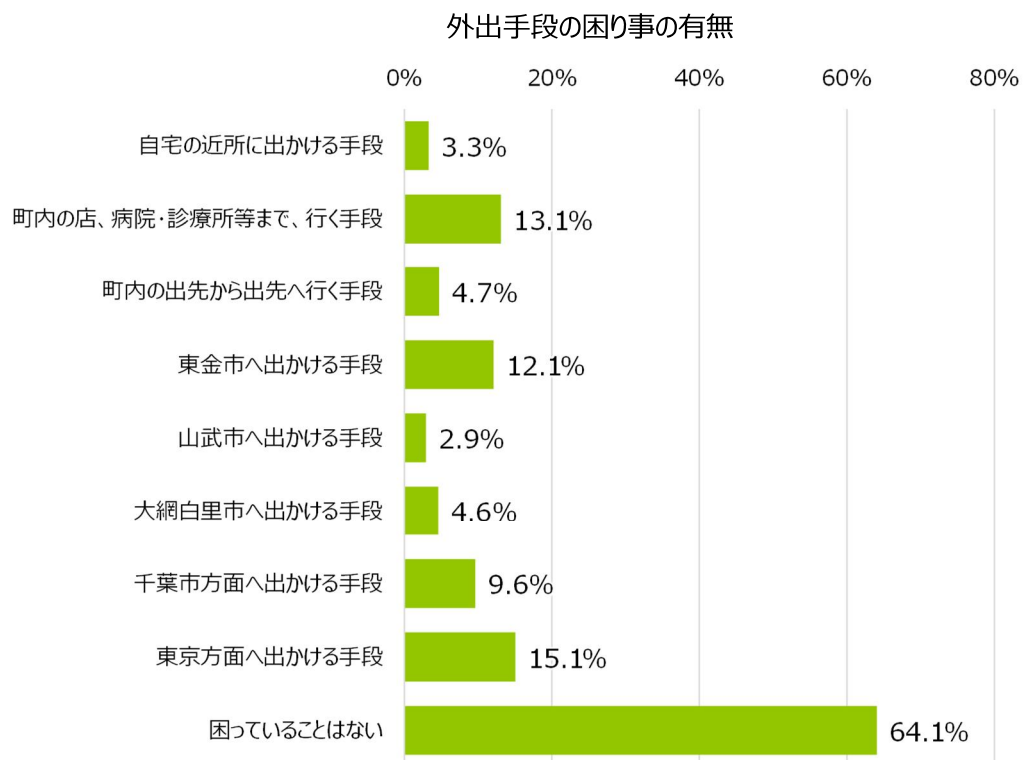
(2) バス・鉄道等を使う人の理由

- バス・鉄道等を利用することがある人については、遠くへ出かける時に乗るという回答が特に多くなっています。その他では、他に手段がない、時間が正確、お酒を飲んで帰る等が多くなっています。



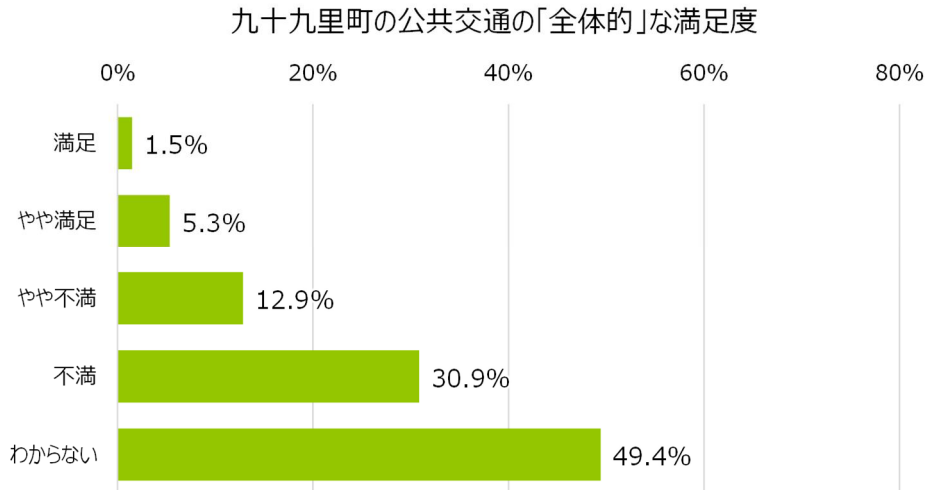
(3) 外出手段の困り事の有無

- 外出手段について、困り事がないという回答者が6割以上を占めています。困り事がある人の中では、東京方面へ出かける手段、町内の店・病院・診療所等へ出かける手段、東金市へ出かける手段が比較的多くなっています。



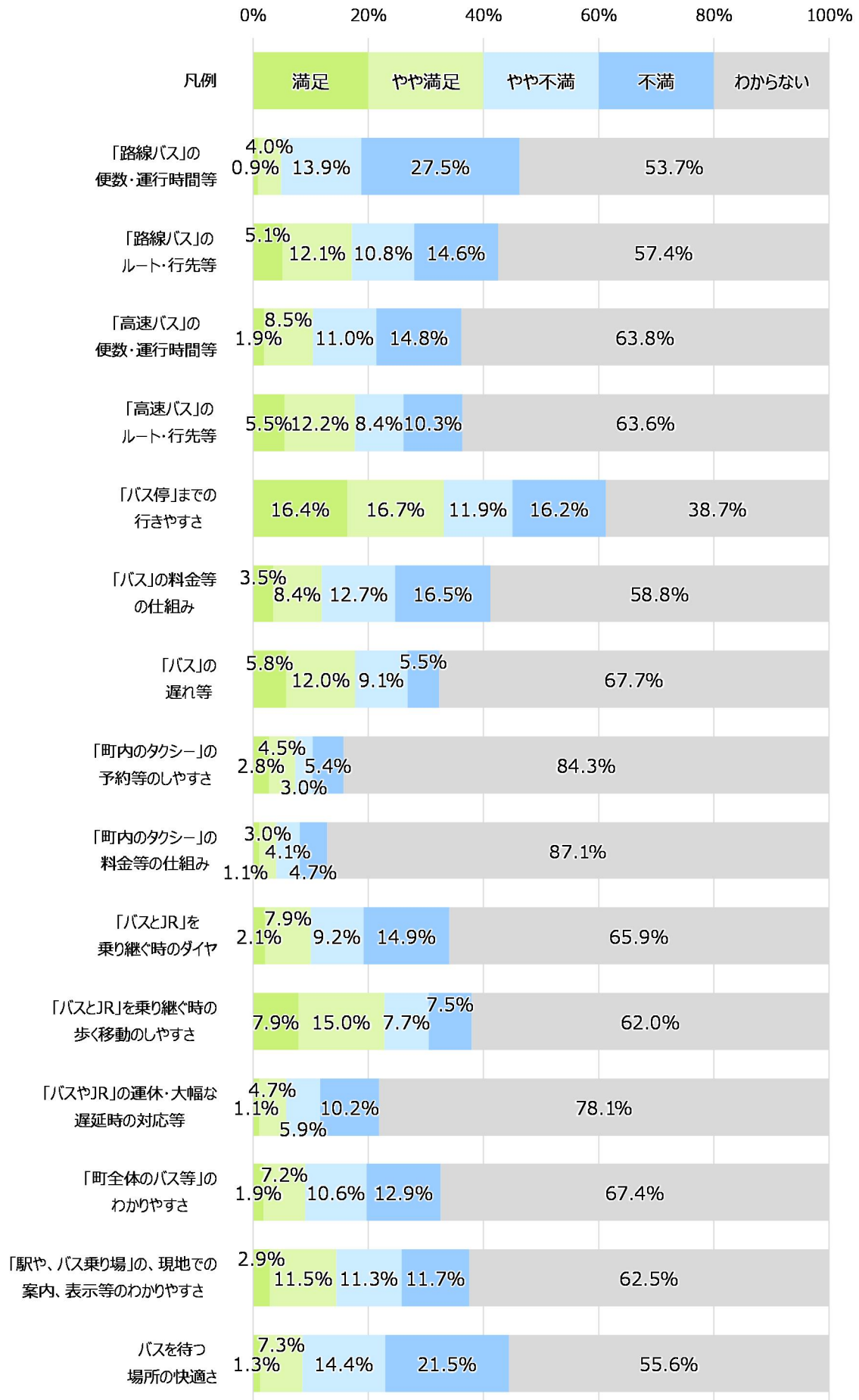
(4) 町の公共交通に対する全体的な満足状況

- 本町の公共交通に対する全体的な満足状況については、不満・やや不満との回答が、満足・やや満足との回答を上まわっています。
- ただし、(乗らないので、満足か不満か) わからないという回答が最も多くなっている状況です。



(5) 公共交通の各項目に関する満足状況

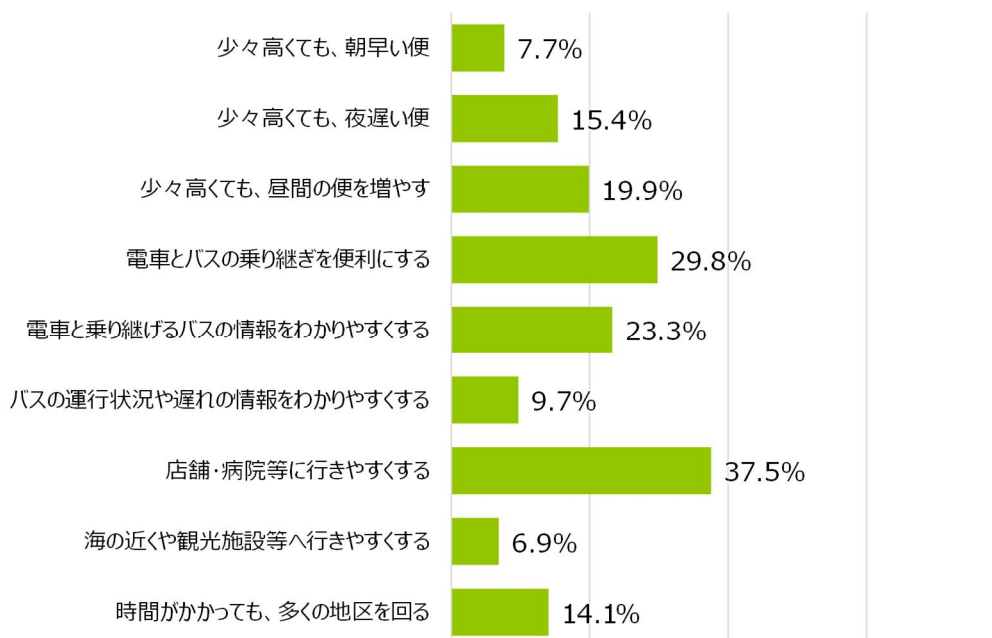
- 本町の公共交通の各項目に関する満足状況については、バスの便数・運行時間、バスの料金、バスと JR の乗り継ぎ、町全体のバス等のわかりやすさ、バスを待つ場所の快適さ等では、不満・やや不満との回答が比較的多くなっています。
- バスの行先、バスの遅れ、乗り継ぎで歩く経路等では、満足・やや満足との回答が比較的多くなっています。バス停までの行きやすさについては、満足、不満とも多くなっています。
- ただし、いずれの項目についても、(乗らないので、満足か不満か) わからないという回答が最も多くなっている状況であり、回答者の多くは、クルマ(運転、送迎・同乗)を利用できるため、公共交通を外出手段として意識していない状況であるものと見受けられます。



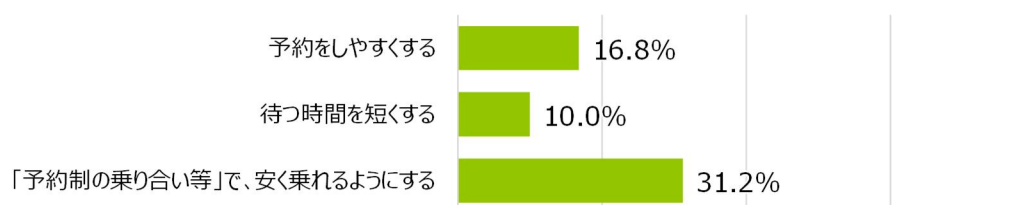
(6) もっと公共交通を利用するために望まれること

- もっと公共交通を利用するために望まれることについて、バスの運行等の面では、店舗・病院等に行きやすくする、電車・バスの乗り継ぎを便利にする、乗り継ぎの情報をわかりやすくするとの回答が多くなっています。
- タクシーの運行等の面では、予約制の乗合等で安くするとの回答が多くなっています。
- 全体のわかりやすさ・やさしさ等の面では、わかりやすい時刻表・マップ、わかりやすい案内・表示、乗り降りが楽な車両との回答が多くなっています。
- 全体の使いやすさ・快適さ等の面では、店舗・病院等を回れる乗り物、何回も気軽に乗れる運賃等の仕組み、待ち時間を快適にする・建物の中で待てるようにするとの回答が多くなっています。

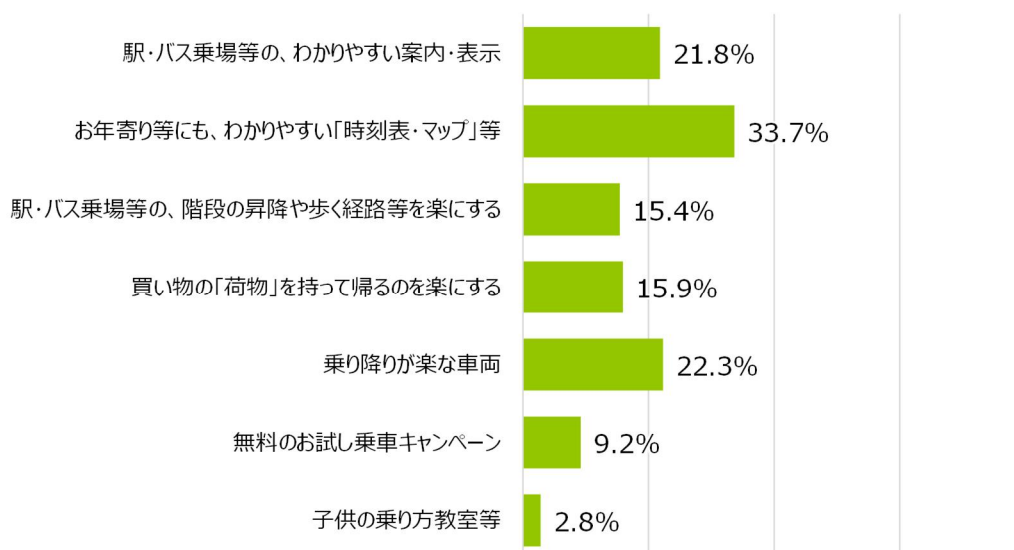
■ バスの運行等について…



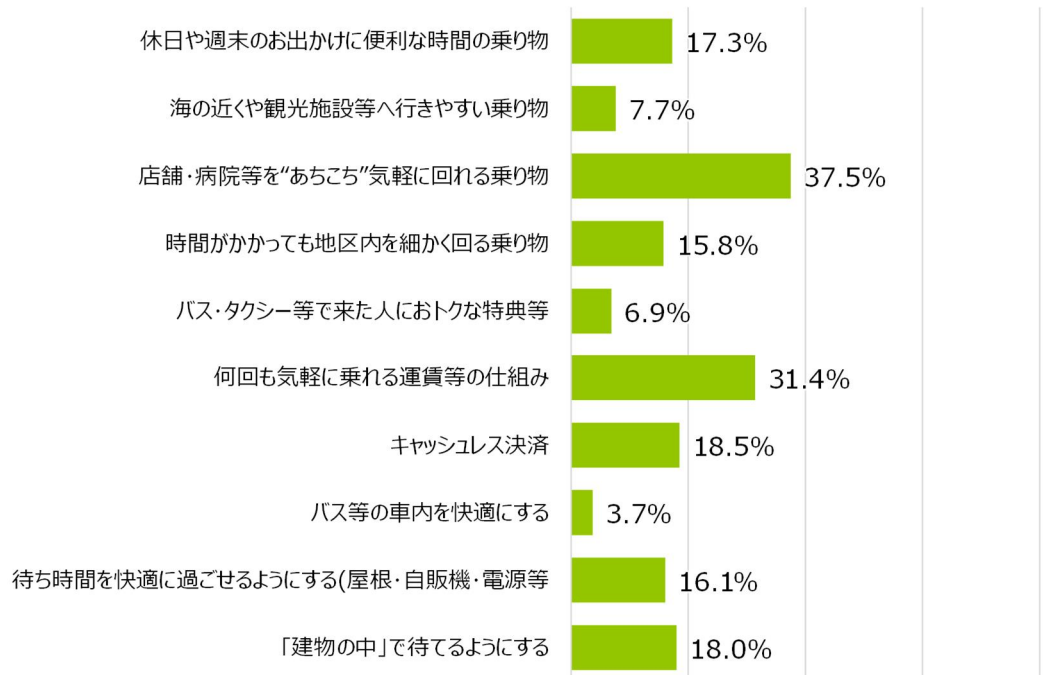
■ タクシーの運行等について



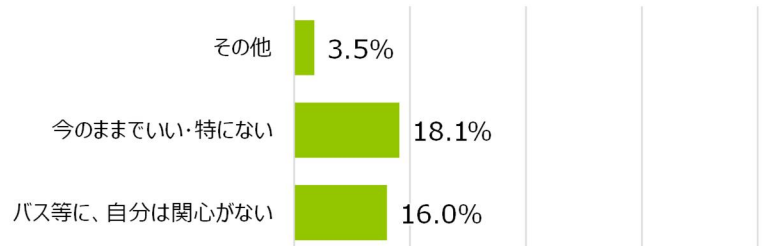
■全体のわかりやすさ・やさしさ等…



■全体の使いやすさ・快適さ等…

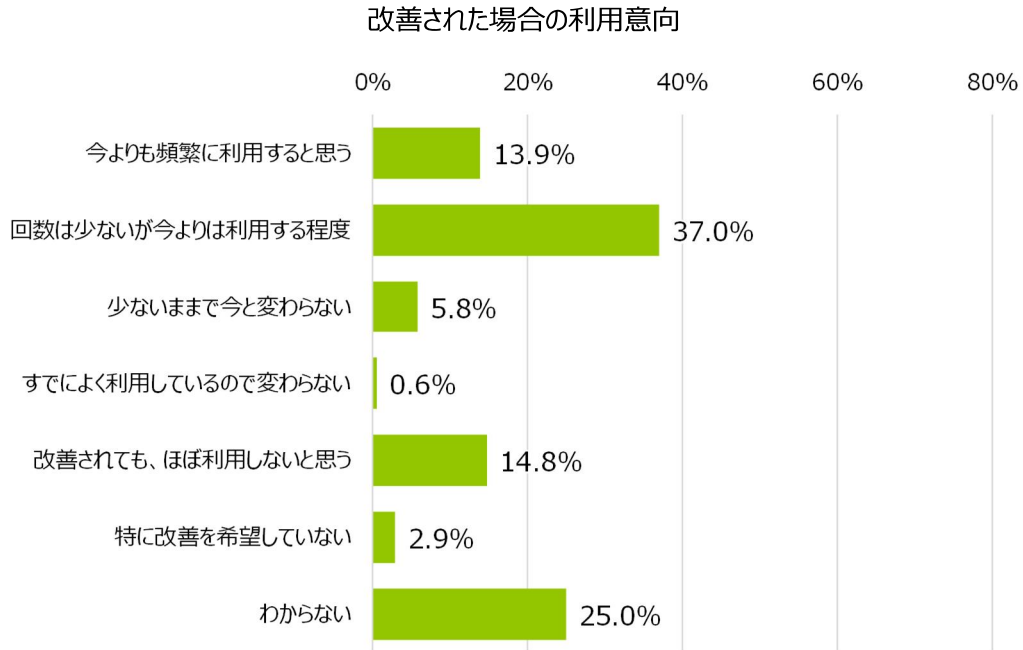


■その他、特にない等…



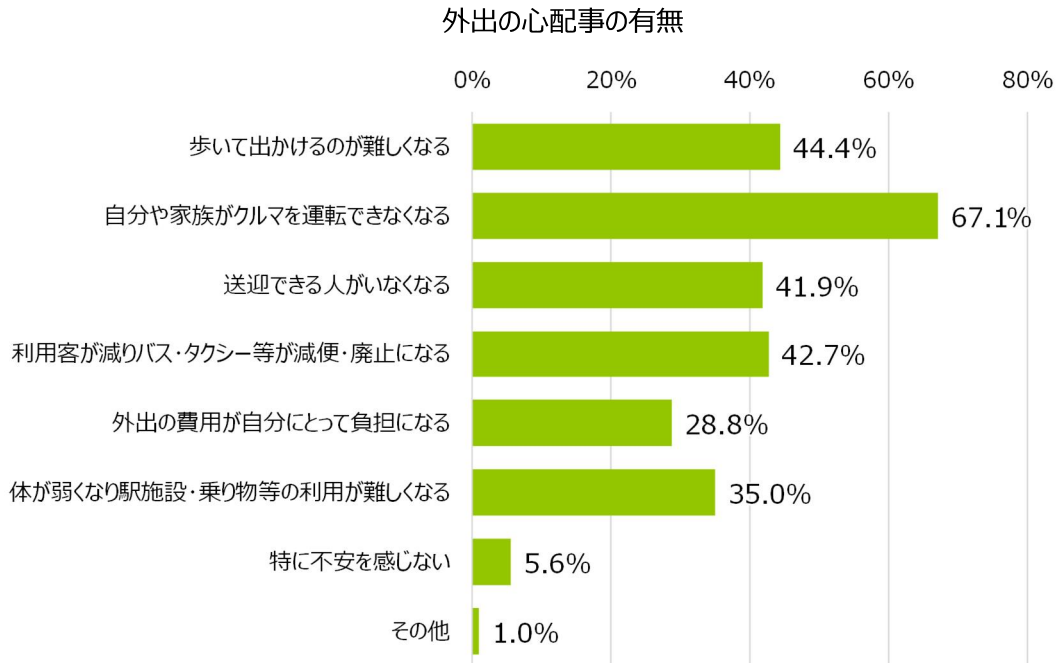
(7) 公共交通が改善された場合の利用意向

- 公共交通について様々な面の希望等がありますが、改善された場合の利用意向は、回数は少なく今よりは利用する程度、(利用頻度が増えるかどうか) わからないとの回答が多い状況です。



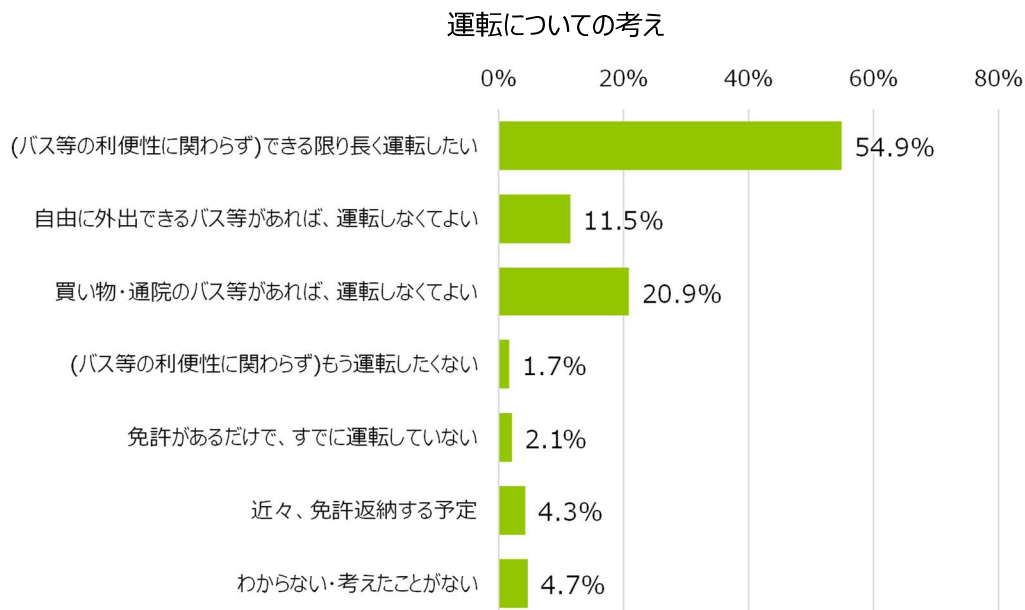
(8) 外出に関する将来の心配事

- 外出に関する現在の困り事はない回答者が多い状況ですが、将来については、自分や家族が運転できなくなること、送迎者がいなくなること、歩いて出かけるのが難しくなること、バス・タクシーが減便・廃止になること等を不安に感じる人が多くなっています。



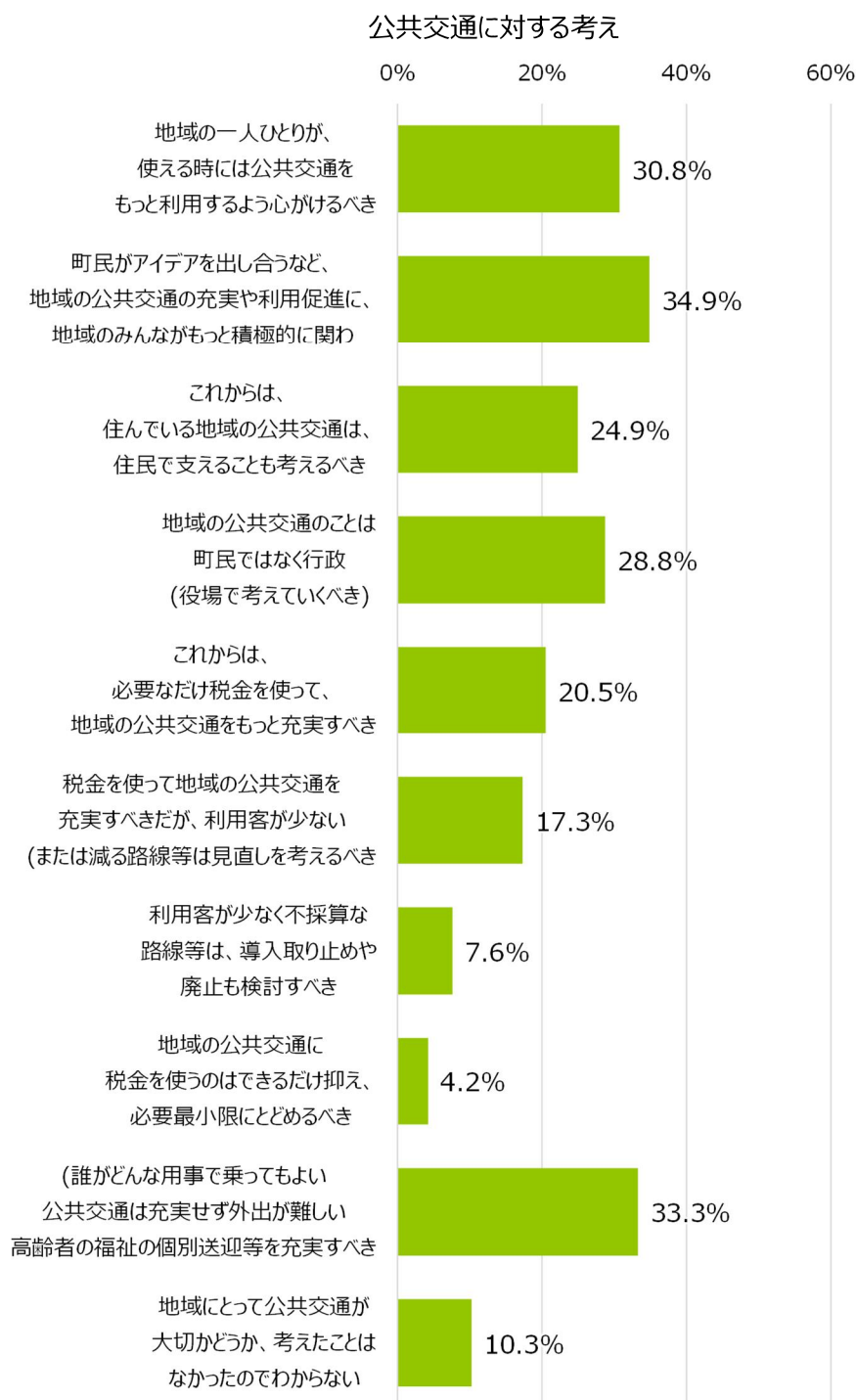
(9) 運転についての考え方 (75歳以上の免許保有者)

- 75歳以上で運転免許を持っている回答者の考え方については、(バス等の利便性に関わらず)できるかぎり長く運転したいという人が半数以上を占めています。その一方で、2割程度の人が、買い物・通院のバス等があれば運転しなくてよいと回答しています。



(10) 今後の町の公共交通に対する考え方

- 今後の町の公共交通に対する考え方については、地域みんなが積極的に関わるべき、一人ひとりがもっと利用するよう心がけるべき、住民で支えることも考えるべきという回答が多いものの、一方では、町民ではなく行政で考えていくべき、利用客が少ない路線等は見直しを考えるべきという回答もあります。また、(公共交通は充実せず)福祉の個別送迎等を充実すべきとの回答も多くなっています。



2. バス利用客へのアンケート

2-1. 調査の実施概要

【調査対象】 九十九里町を運行する路線バスの乗降客

【調査日・場所】 令和5年（2023年）8月26日（土）：西の下バス停留所

10月12日（木）：西の下・小関納屋・北新田・小関丘バスの各停留所

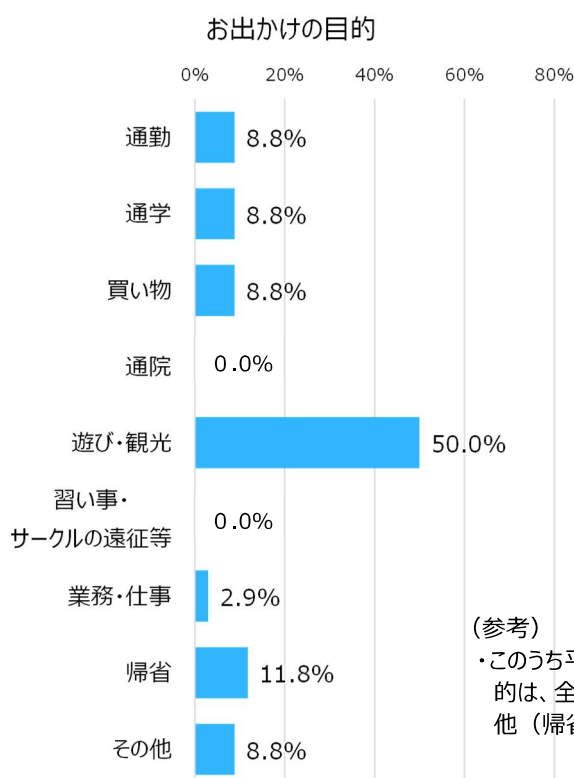
【調査方法】 調査員が停留所でバス乗降客を待ち受け、調査票を配布、その場で回収

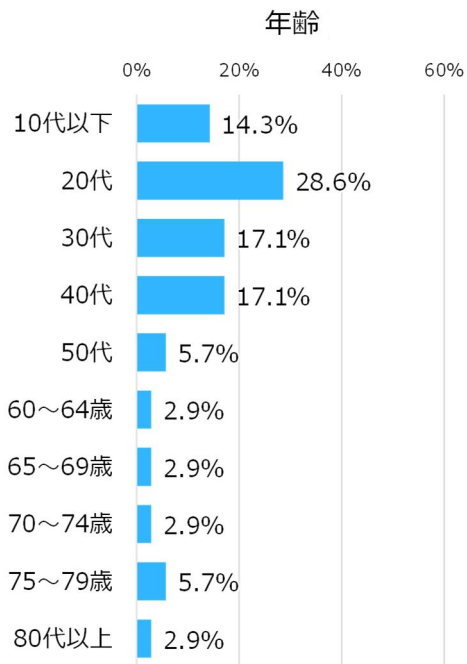
【回答者数】 35人（休日27人、平日8人）



《回答者について》

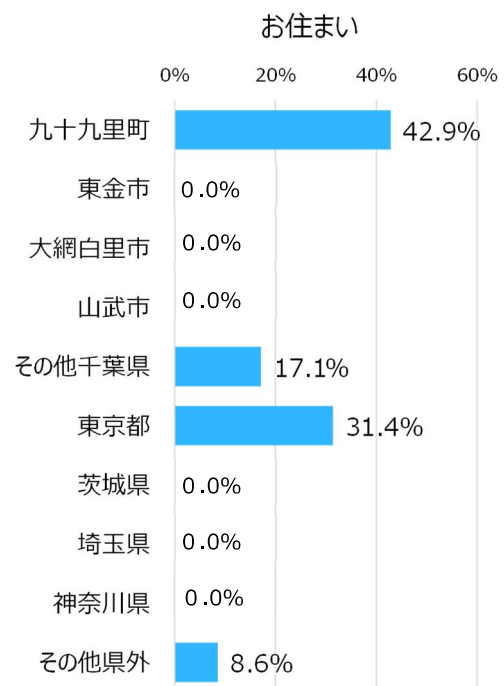
このアンケートは、休日調査が夏休みであったため、回答者の当日の外出目的は遊び・観光が半数を占めています。年代は10～40歳代が中心で、居住地は町内が最も多くなっていますが、県内の他市町や東京方面からの利用客も多くなっています。





(参考)

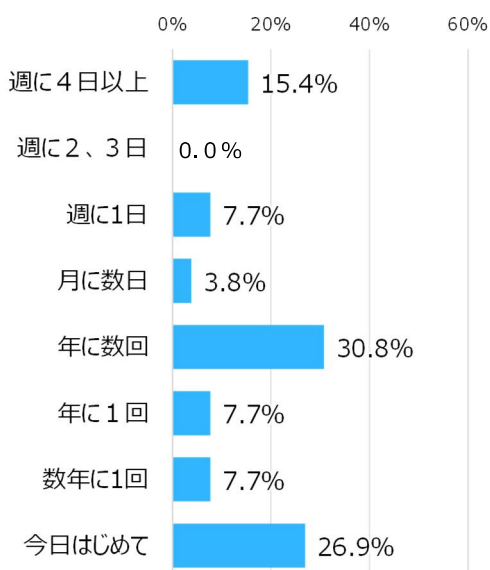
・このうち平日の回答者の年齢は、1人を除く全員が70歳代以上または20歳代以下です。



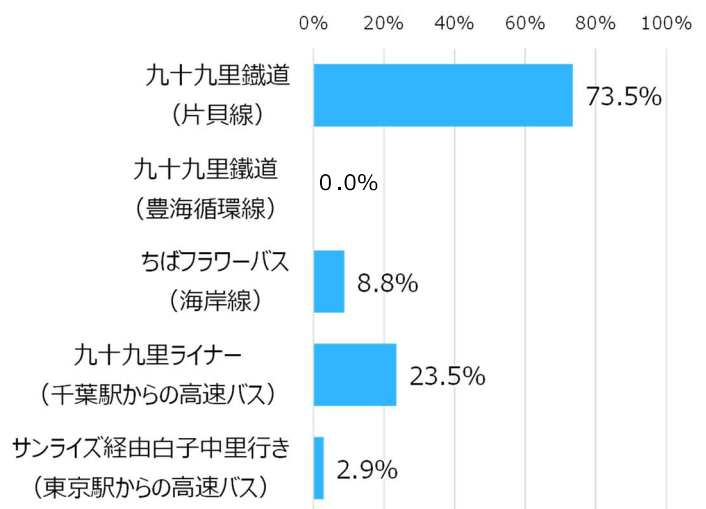
(参考)

・このうち平日の回答者の居住地は、6割が町内です。

九十九里町への来訪頻度



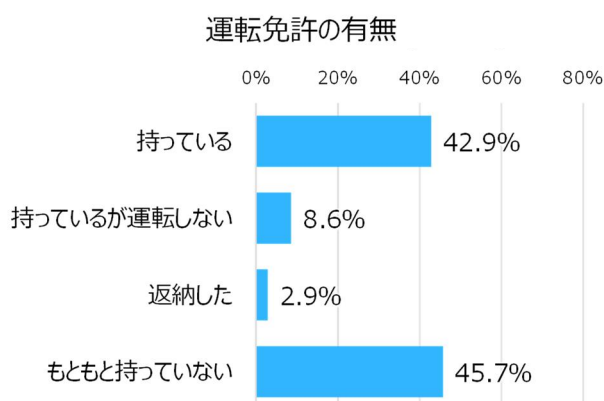
回答者が当日利用したバス



2-2. 主な調査結果

(1) 運転免許の保有状況

- 回答者（バス利用客）の運転免許の保有状況については、6割程度が免許を持たない人と運転しない人が占めています。本町のバスは、主にクルマを使わない人に利用されているものと見受けられます。

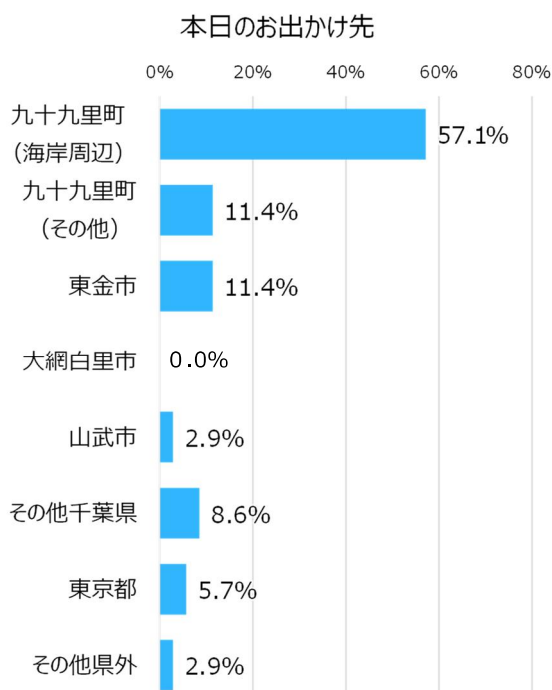


(参考)

・このうち平日の回答者は、1人を除く全員が、免許がないまたは運転しない人です。

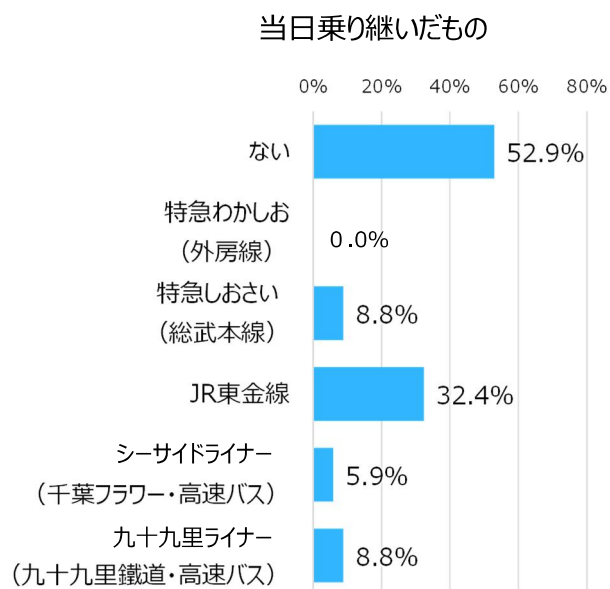
(2) 当日のお出かけ先（目的地）

- 当日の外出の目的地については、九十九里町の海岸周辺が多数を占めていますが、県内の他市町や東京方面に出かける人もいます。



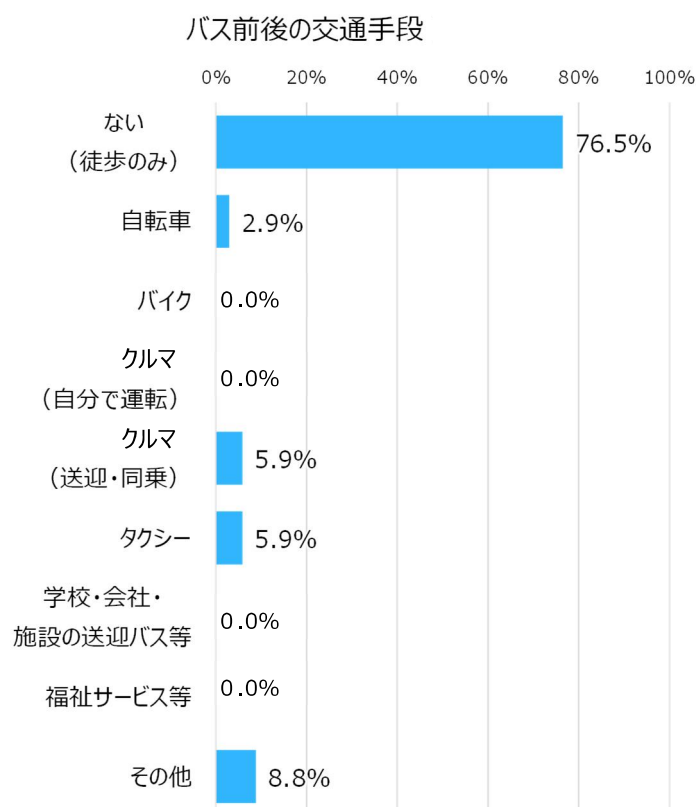
(3) 鉄道・高速バスとの乗り継ぎの有無

- バスの利用前後で、鉄道や高速バスとの乗り継ぎをしていない回答者が約半数を占めています。次いで鉄道（JR東金線）と乗り継いで利用した人が多くなっています。



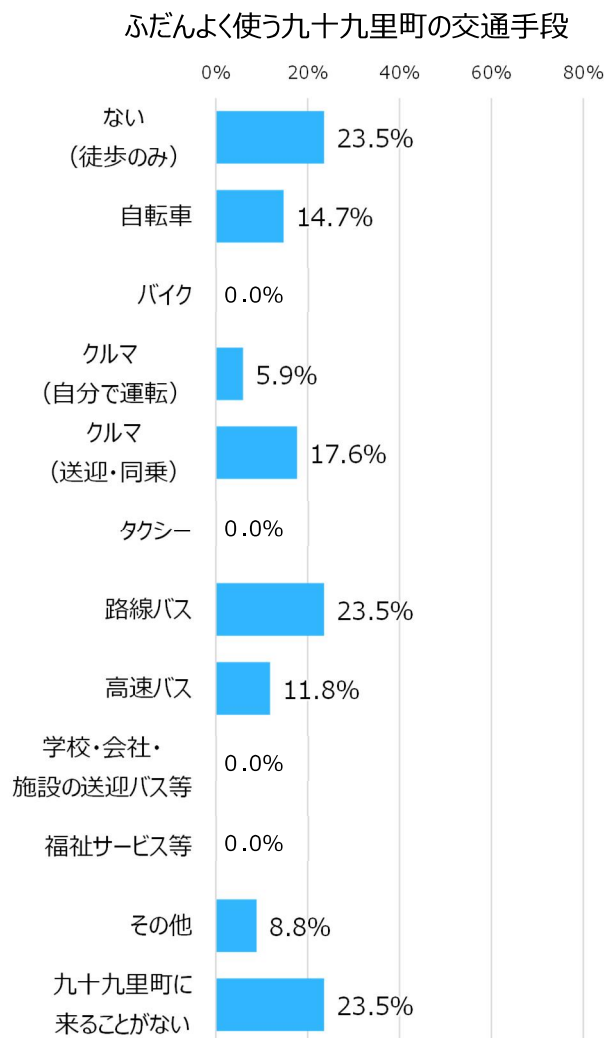
(4) 町内でのバス利用前後の交通手段

- 町内でのバス利用前後の交通手段は、ない（徒歩のみ）という回答者が大半を占めています。このことから、本町のバスが主にバス停から徒歩圏で利用されているものと見受けられます。



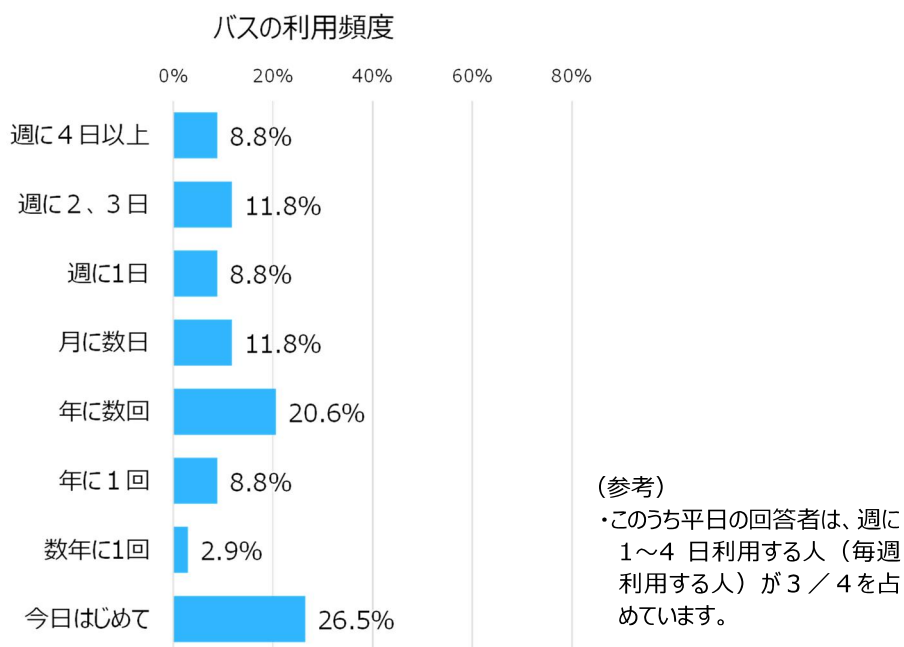
(5) ふだんよく使う九十九里町の交通手段

- 回答者がふだん使う交通手段は、徒歩、路線バス、クルマ（送迎・同乗）、自転車が比較的多くなっていますが、クルマ（自分で運転）は少なくなっています。このことから、本町のバスは、主に自分でクルマを運転しない人に利用されているものと見受けられます。



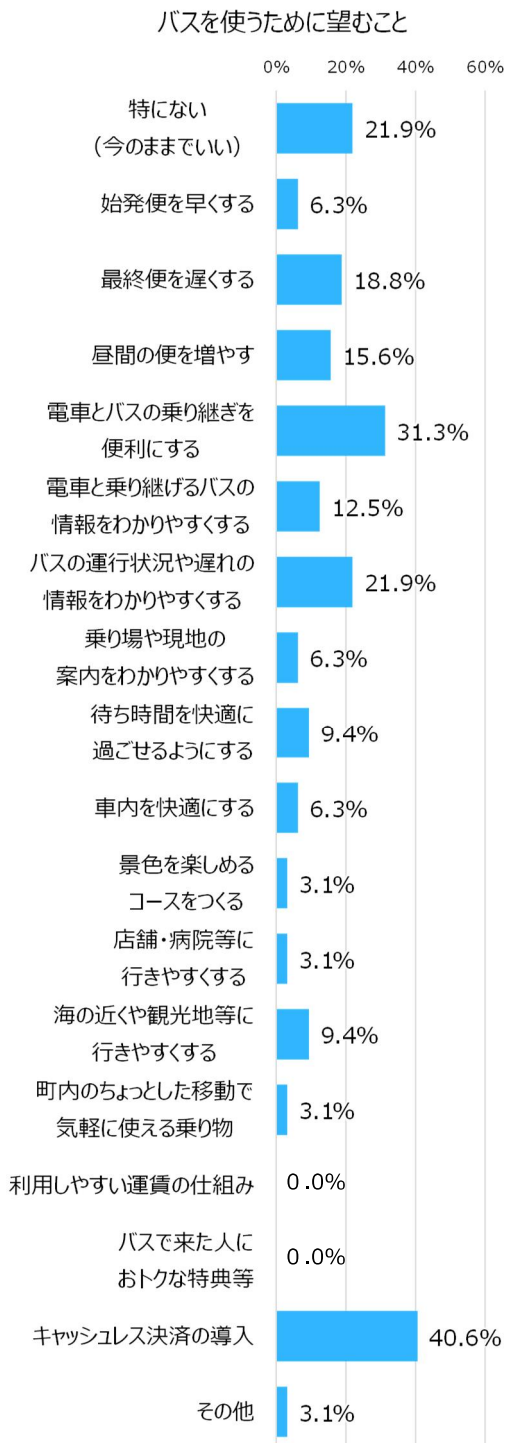
(6) ふだんの九十九里町のバスの利用頻度

- ふだんの本町のバスの利用頻度は、はじめてという回答が最も多く、次いで年に数回という回答が多くなっています。



(7) もっと九十九里町のバスを使うために望むこと

- 回答者がもっと本町のバスを利用するために望むことは、キャッシュレス決済の導入が最も多く、次いで、電車とバスの乗り継ぎを便利にすること、バスの運行状況や遅れの情報をわかりやすくすること、最終便を遅くすることの順で多くなっています。



(具体的に記述のあった主な内容 (少数))

- ・バスと鉄道の乗り継ぎ時間を合わせてほしい。
- ・検索サイトで最新の情報を調べられるようにしてほしい。
- ・ICカードを使えるようにしてほしい。
- ・海水浴に行くのに便利のため、運行を続けてほしい。
- ・町内を回るバス等がほしい。
- ・バスをなくさないでほしい。

3. タクシー利用客へのアンケート

3-1. 調査の実施概要

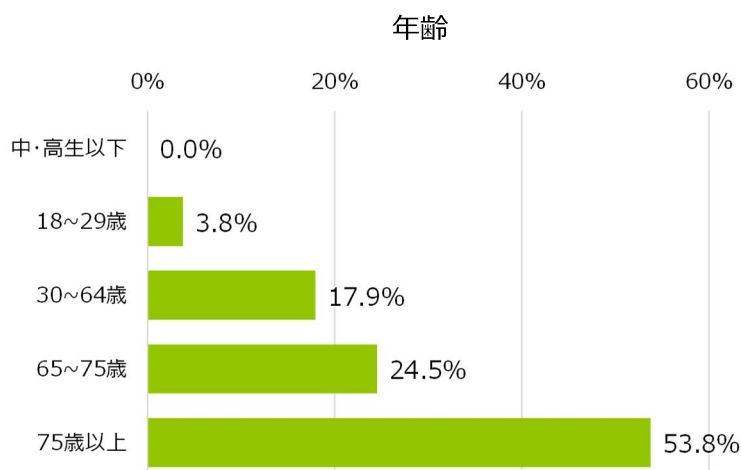
- 【調査対象】 九十九里町のタクシーの利用客
- 【調査日】 令和5年（2023年）11月
- 【調査方法】 片貝タクシー様の協力により利用客に車内で配布・回収
- 【回答者数】 108人（延べ人数）



3-2. 主な調査結果

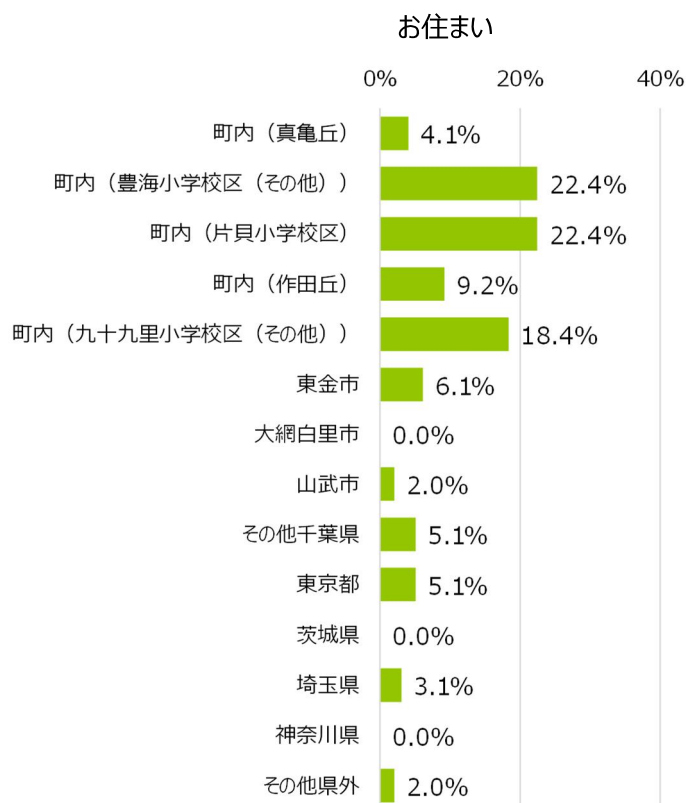
(1) 利用客の年齢

- タクシー利用客（回答者）の年齢は、65歳以上の高齢者が中心であり、75歳以上が約半数を占めています。



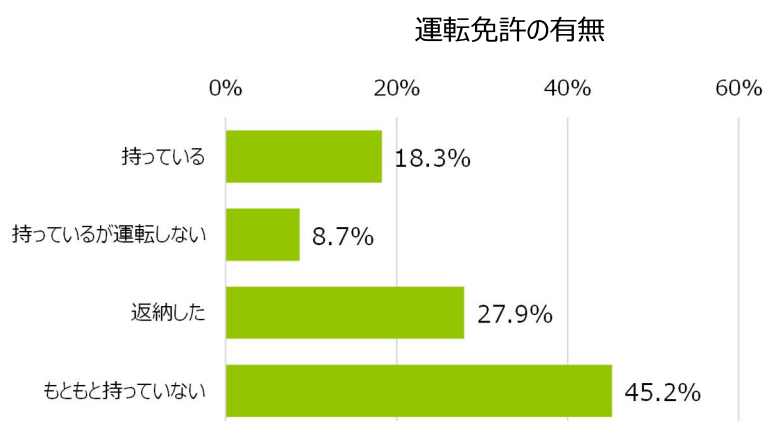
(2) 利用客の居住地

- 利用客の約8割が町内の居住者であり、本町のタクシーは主に町民に利用されています。また小学校区に偏りはなく、町域全体で利用されている状況です。



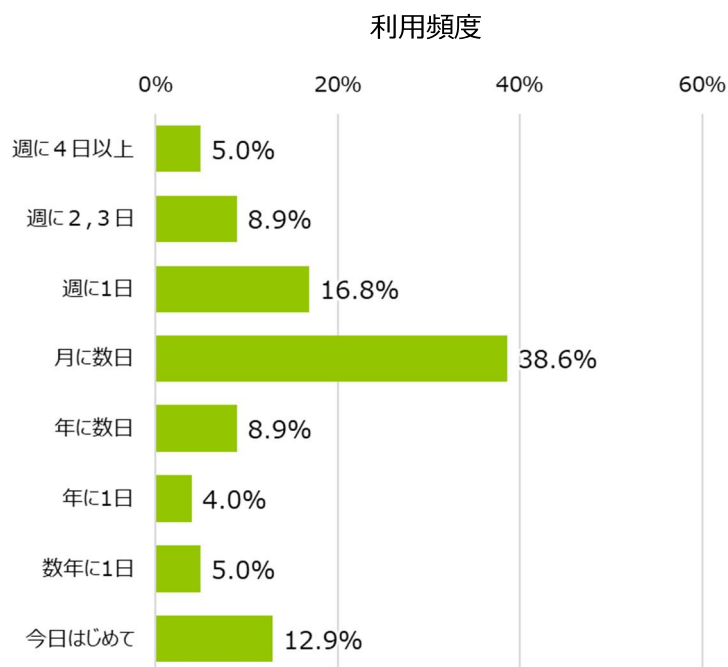
(3) 運転免許の保有状況

- 利用客のうち運転免許を持ちクルマを運転している人は2割弱であり、本町のタクシーは、主にクルマを運転しない人に利用されている状況です。



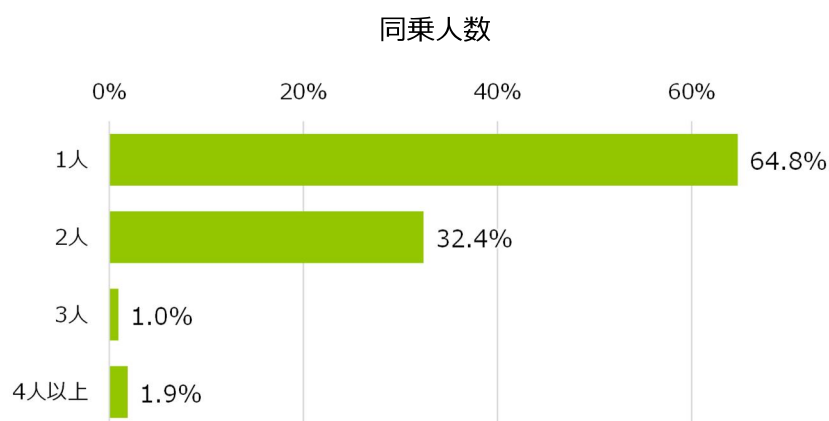
(4) タクシーの利用頻度

- 利用客のうち、町内のタクシーを月に数日使う人が最も多くなっていますが、週1日以上使う人が計3割程度います。



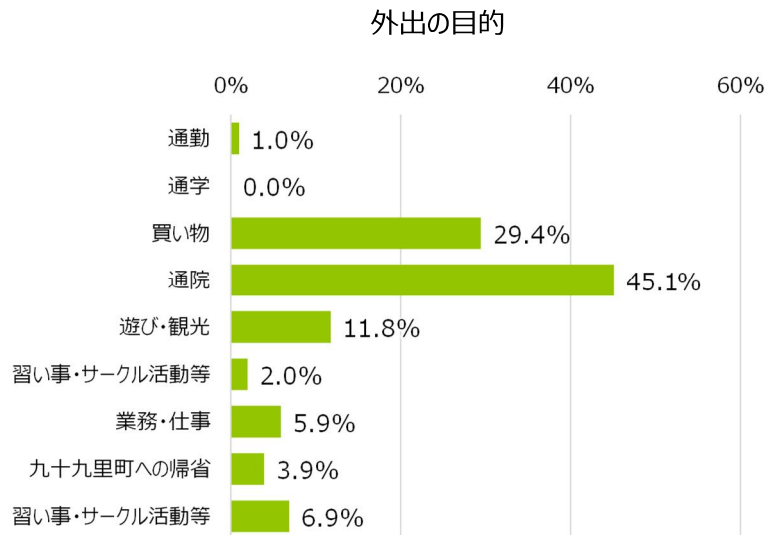
(5) 利用時の同乗人数

- タクシーを利用する際の同乗人数は、1人での利用が6割以上を占めています。次いで多いのは2人での利用であり、3人以上での利用はほとんどありません。



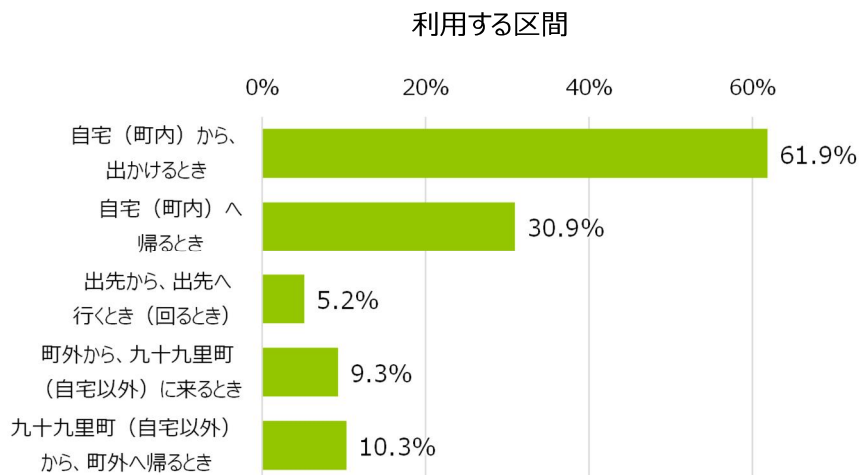
(6) 利用時の外出目的

- タクシーを利用する際の外出目的は、通院が最も多く、次いで買い物が多く、これらが大半を占めています。本町のタクシーは、主に町民の日常的な外出に利用されています。



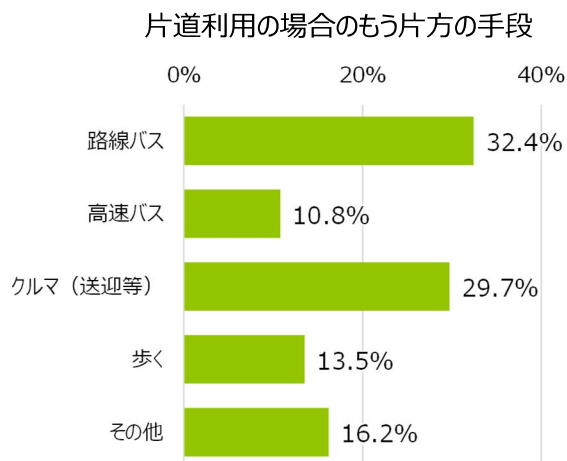
(7) 利用する区間

- タクシーを利用する区間は、自宅から出かける 때가最も多くなっています。自宅へ帰るときの利用は半数程度となっています。
- 出先から出先への移動手段としての利用は少ない状況です。



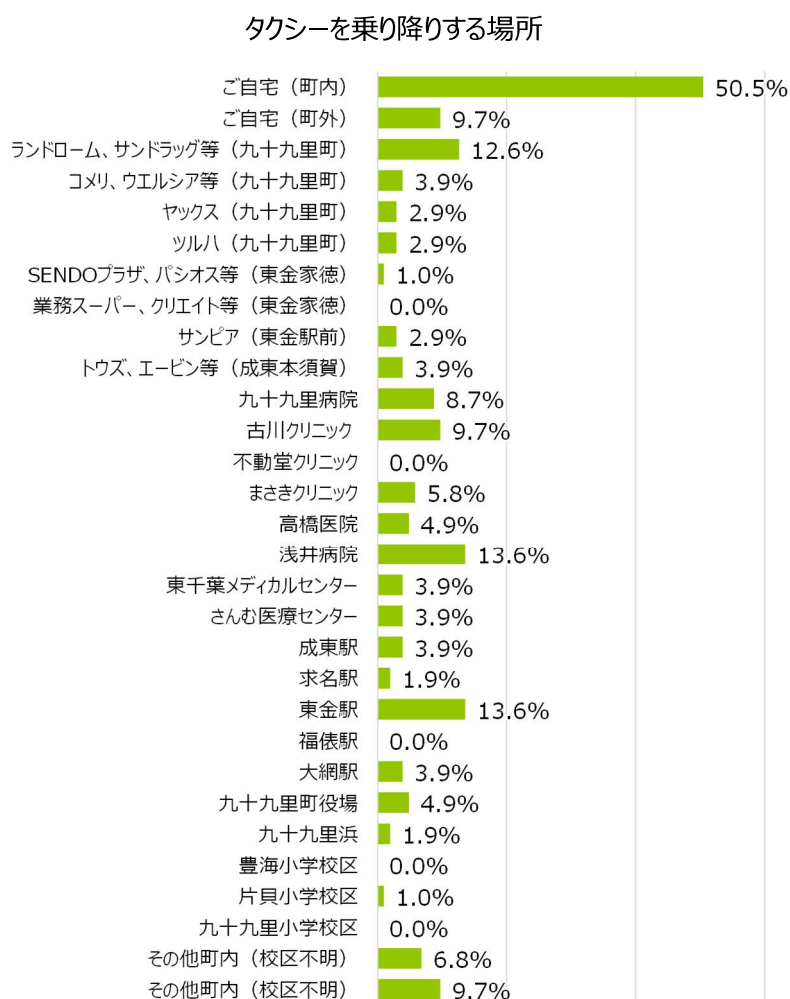
(8) 片道利用の場合のもう片方の手段

- 往復のうち片道のみタクシーを利用する人のもう片方の手段は、路線バス、クルマによる送迎等が多くなっています。



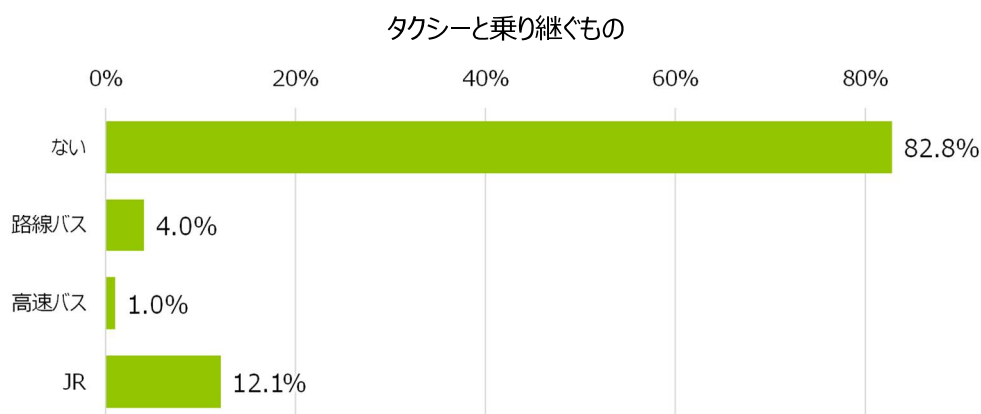
(9) タクシーを乗り降りする場所

- タクシーを乗り降りする場所は、自宅以外では、町内の店舗、病院・診療所のほか、東金市の病院、東金駅が多くなっています。



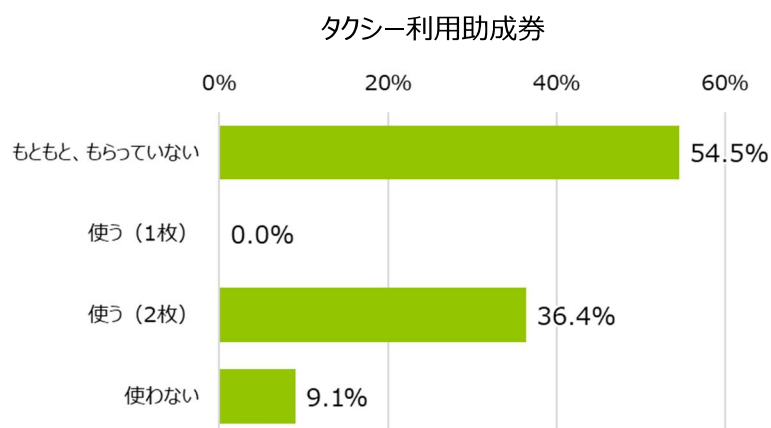
(10) タクシーと乗り継ぐもの

- タクシーと他の交通手段との乗り継ぎについては、JRとの乗り継ぎが1割程度あるものの、大半がタクシー単独の利用となっています。



(11) 当日のタクシー利用助成券の利用（作田丘、真亀丘にお住いの65歳以上の方）

- 作田丘、真亀丘にお住いの65歳以上の利用客のうち、「タクシー利用助成券」をもらっていない人（65歳以上75歳未満で運転免許を返納していないと想定される人）が半数以上です。
- 「タクシー利用助成券」を使った人は、全員が当日に2枚を利用しています。



（参考：タクシーについての意見で記述のあった主な内容（少数））

- ・いつも親切で、感謝しています。
- ・たいへん助けになっています。
- ・タクシーがないと生活できない。

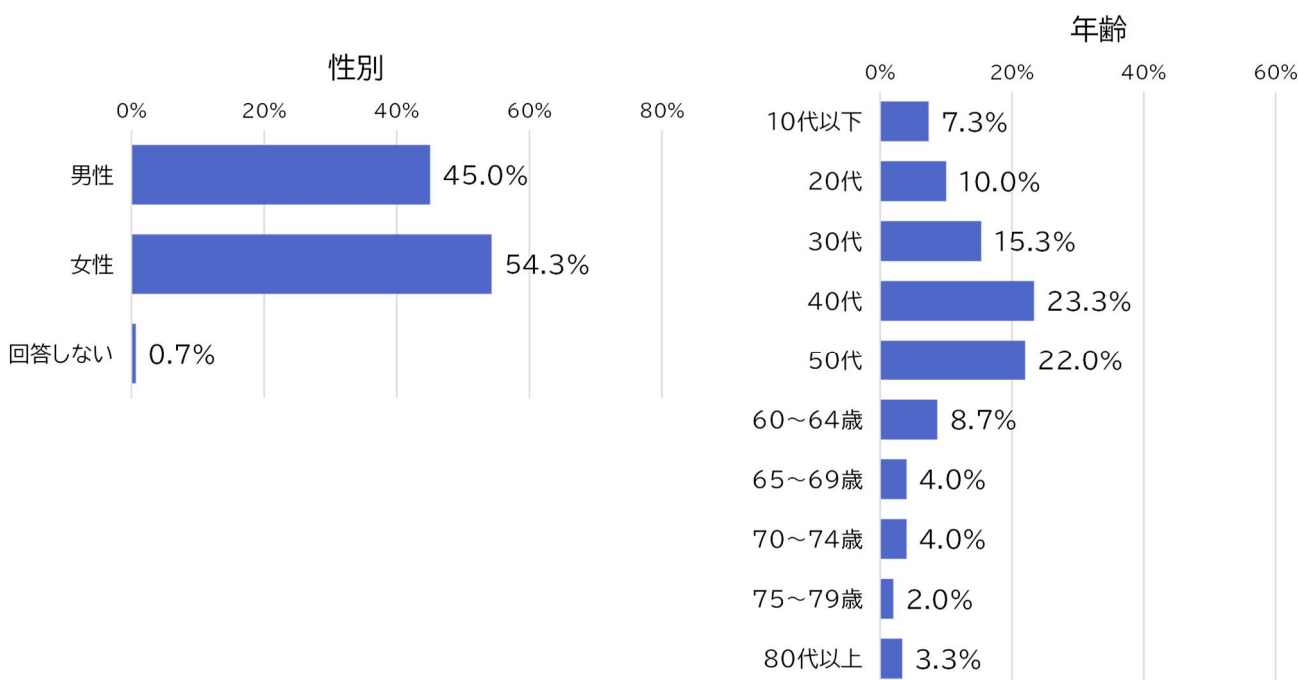
4. 観光客へのアンケート

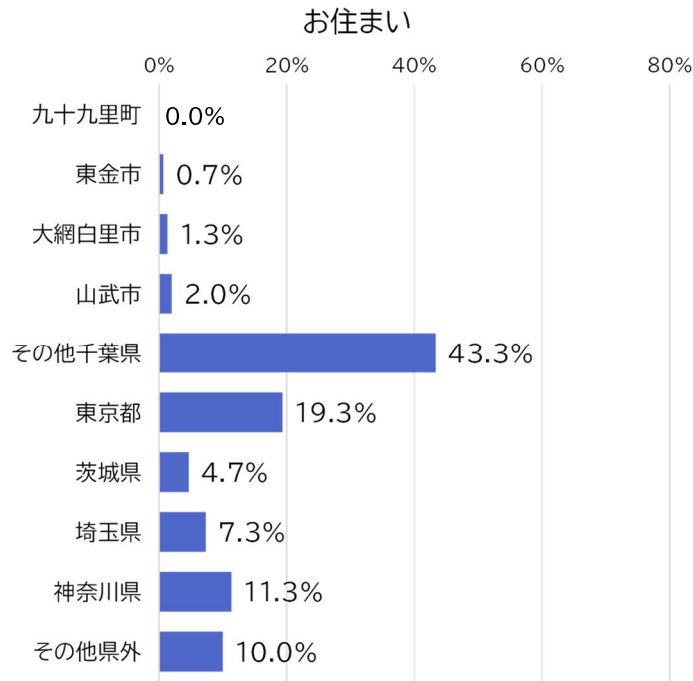
4-1. 調査の実施概要

- 【調査対象】 海の駅九十九里の来訪客
- 【調査日】 令和5年（2023年）8月26日（土）
- 【調査方法】 調査員が海の駅九十九里で来訪客を待ち受け、調査票を配布、その場で回収
- 【回答者数】 151人



《このアンケートの回答者》

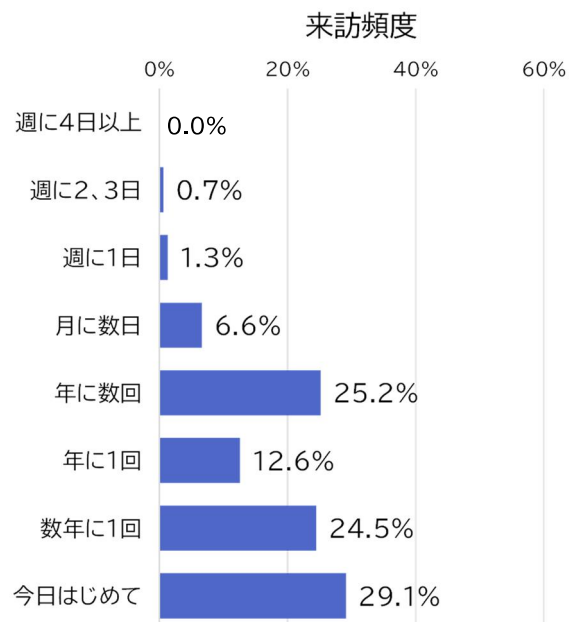




4-2. 主な調査結果

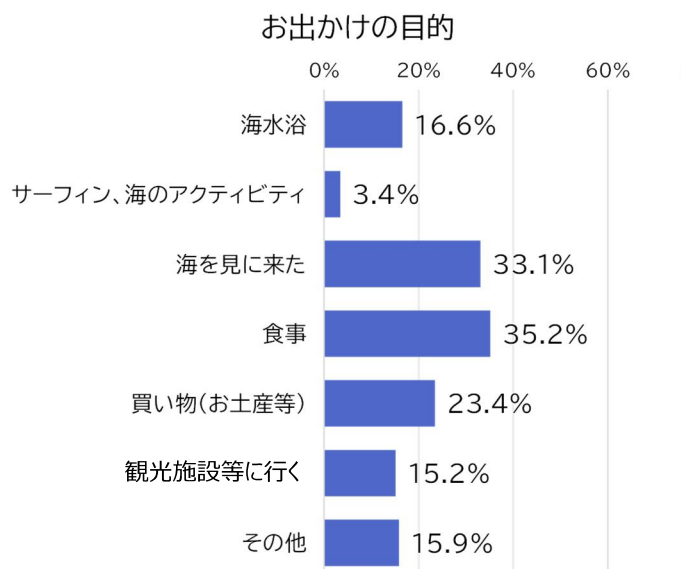
(1) 九十九里町への来訪頻度

- 回答者（観光客）の本町への来訪頻度については、はじめて、数年に1回という人が多いものの、年に数回訪れている人もいます。



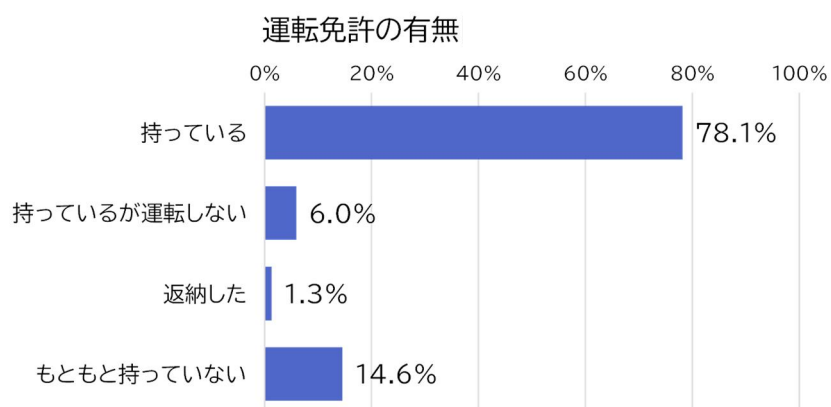
(2) 当日のお出かけ（観光・レジャー等）の目的

●当日の外出目的については、食事をしに来た人や海を見に来た人が多くなっています。



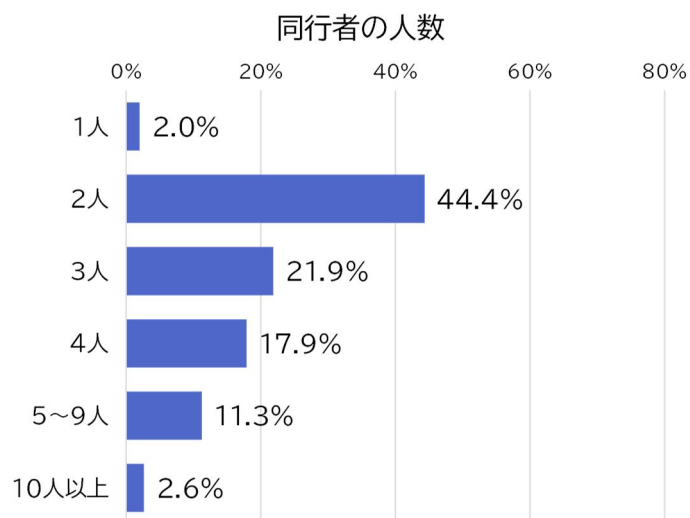
(3) 運転免許の保有状況

●運転免許については、持っている人が大半を占めています。



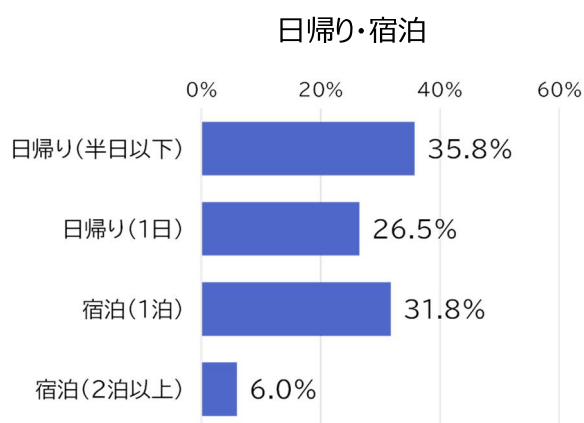
(4) 同行者の人数

- 同行者の人数については複数名が大半であり、2人連れが最も多くなっています。



(5) 日帰り・宿泊

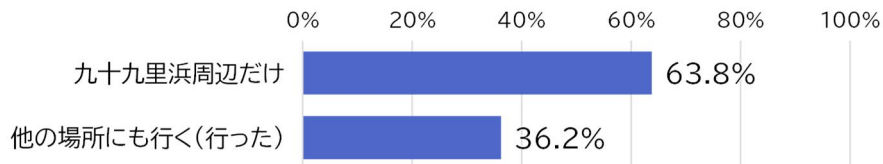
- 日帰り客が計6割程度を占めており、半日以下の滞在が特に多くなっています。回答者の滞在時間は、全体として短い傾向があります。



(6) 九十九里浜以外への立ち寄り

- 回答者の約6割が九十九里浜周辺のみへの来訪であり、複数の場所を巡るような観光をする人は比較的少ない状況です。

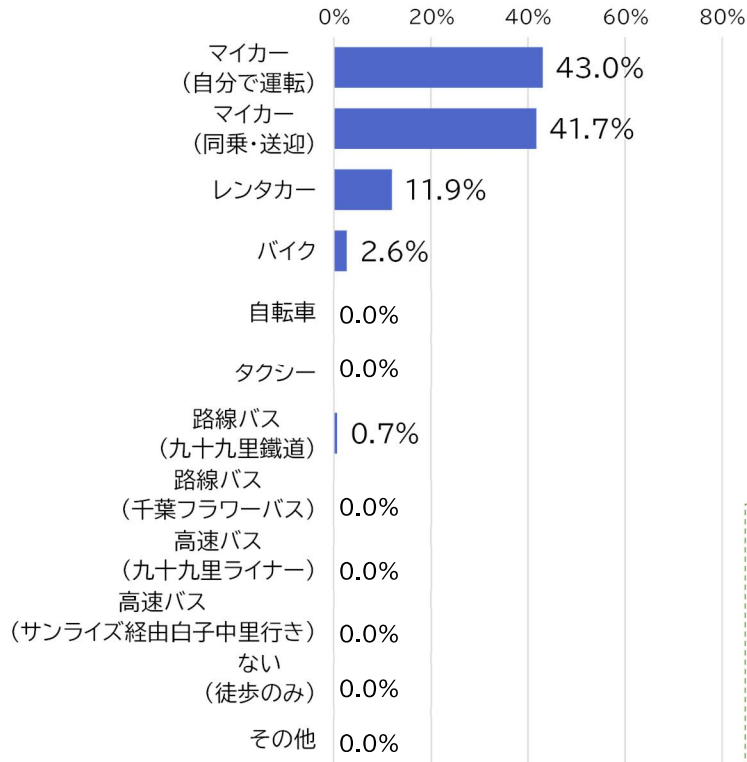
九十九里浜以外への立ち寄りの状況



(7) 来訪時の交通手段

- 来訪時の交通手段は、マイカーが計8割以上を占めており、レンタカーを含めると、クルマで来訪する人がほとんどです。バスで来訪する人はきわめて少ないのが現状です。

来るときに使った移動手段

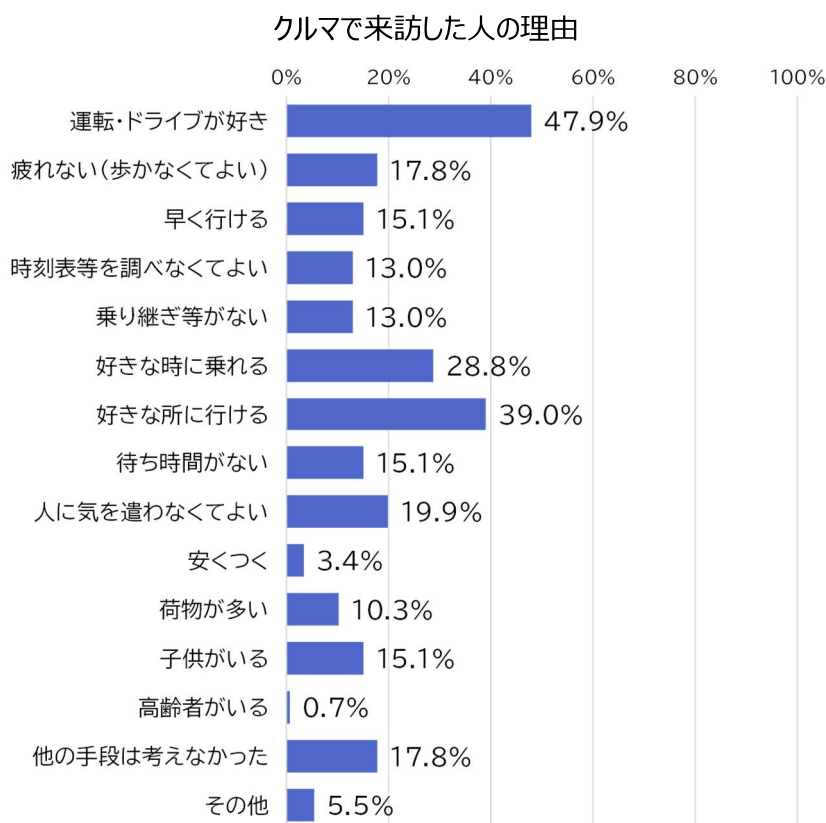


(参考)

回答者のうち、バスで来訪した人は1名のみで、JR 東金線と乗り継いで利用しています。バスを利用した主な理由は、疲れないこと（誰かが運転しなくてよいこと）です。

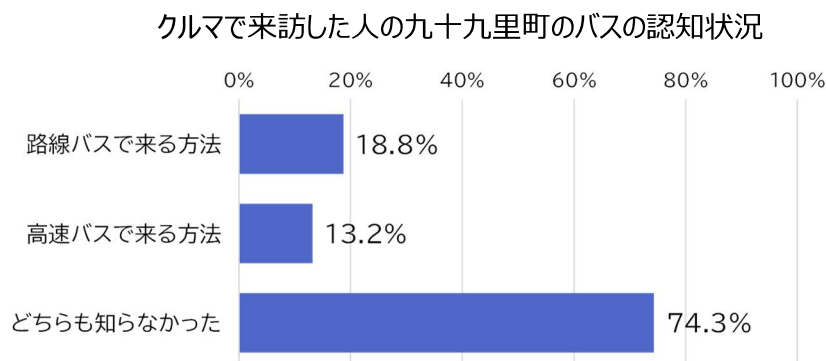
(8) クルマで来訪した人の理由

- クルマで来訪した人については、運転・ドライブが好きとの理由が最も多く、次いで、好きな所に行ける、好きな時に乗れるとの理由の順で多くなっています。



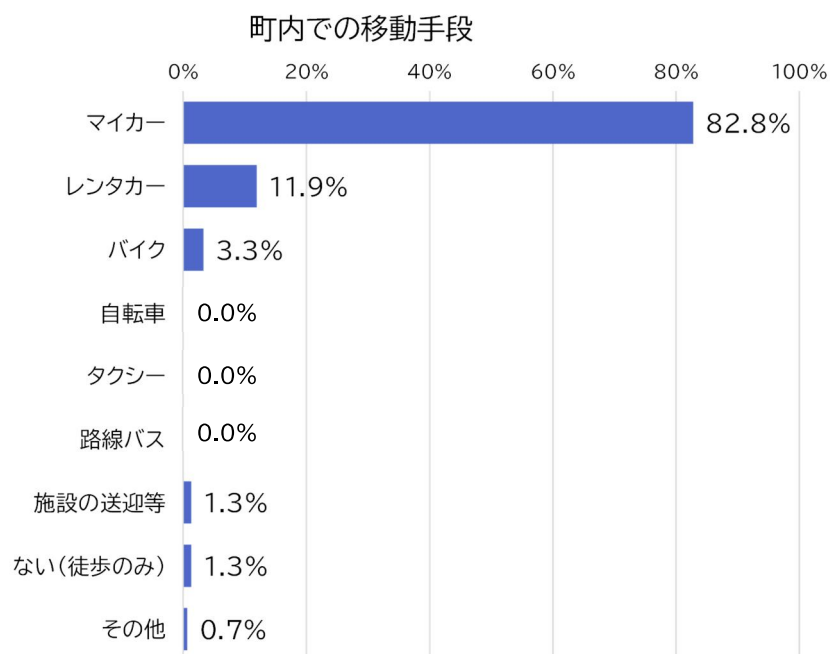
(9) クルマで来訪した人のバスの認知状況

- クルマで来訪した人については、本町へバスで来る方法を知らなかった人が7割を占めているのが現状です。来訪者の多くが、本町はクルマで来訪する場所であるとのイメージを持っており、バスを選択肢として意識していない可能性があります。



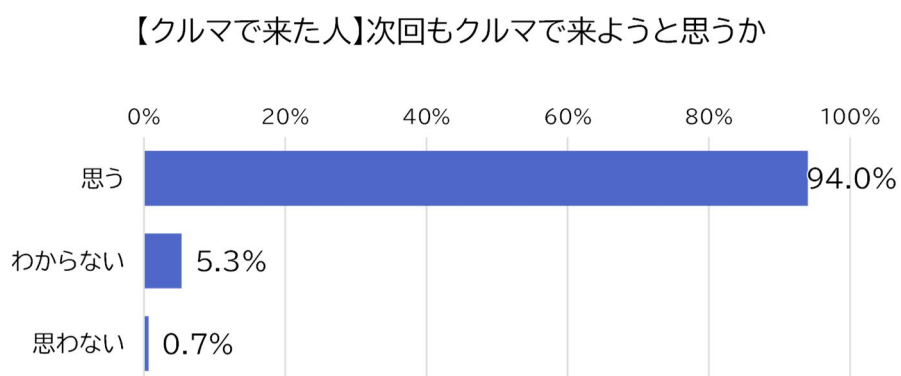
(10) 町内の移動手段

- 本町へクルマ（マイカー、レンタカー）で来訪する人が大半であるため、町内での移動手段もクルマが大半を占めている状況です。



(11) 次回の来訪手段

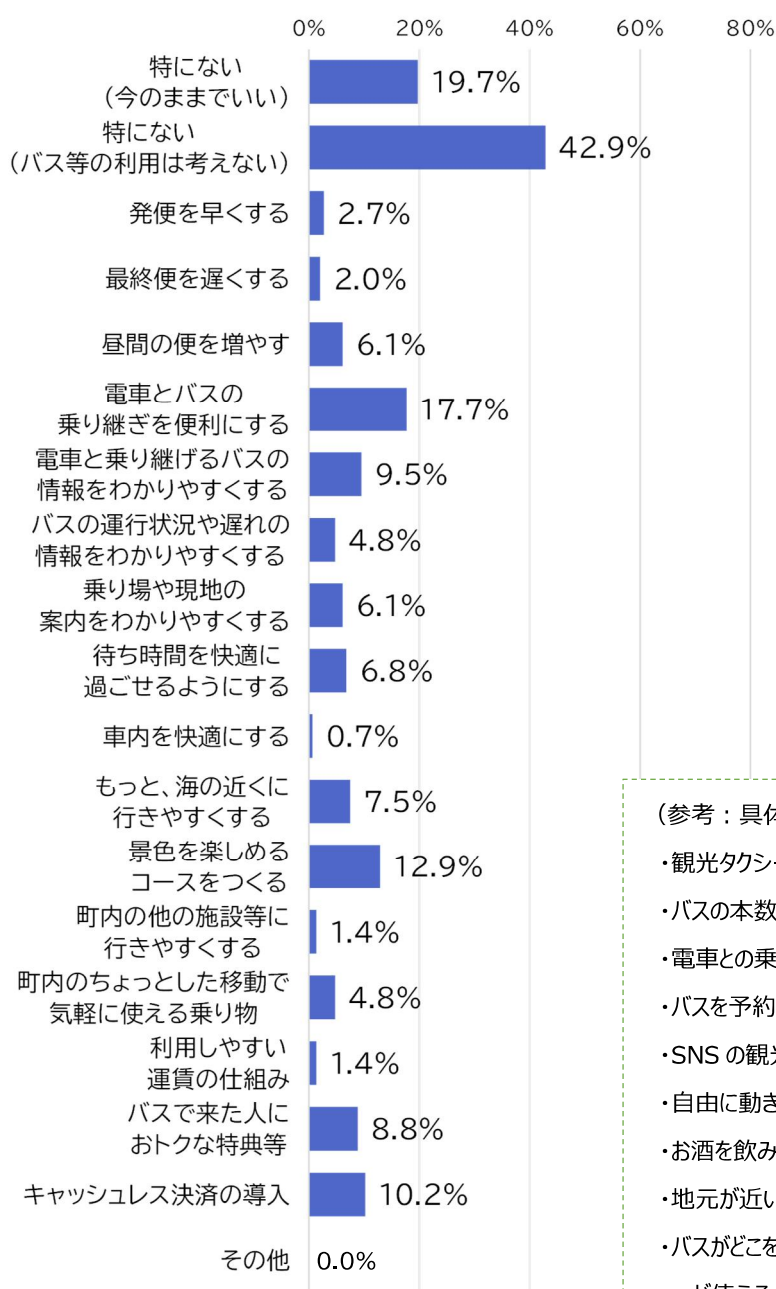
- 本町へクルマ（マイカー、レンタカー）で来訪した人は、次回もクルマで来訪したいとの意向となっています。（バスで来訪した人も、次回はバスで来訪したいとの意向です。）



(12) もっと九十九里町のバス等を使うために望むこと

- 来訪客が、もっと本町のバス等を使うために望むことについては、ない（バスの利用は考えない、今のままでいい）との回答が多数を占めています。
- 希望する回答があった中では、電車とバスの乗り継ぎを便利にすることが最も多く、次いで景色を楽しめるコースをつくること、電車と乗り継げるバスの情報をわかりやすくすること、バスで来た人におトクな特典等、もっと海の近くに行きやすくすることの順で多くなっています。

もっと九十九里町のバス等を使うために望むこと



(参考：具体的に記述のあった主な内容 (少数))

- ・観光タクシーがあるとよい。
- ・バスの本数を増やしてほしい。
- ・電車との乗り継ぎを便利にしてほしい。
- ・バスを予約できると安心。
- ・SNSの観光情報、観光に便利なスマホアプリ。
- ・自由に動き回りたいためマイカーが楽。
- ・お酒を飲みたいので本当はマイカーで来たくなかった。
- ・地元が近いが、高速バスが通っていることを初めて知った。
- ・バスがどこを通っているか分からない。現地に着いた後にバスが使えるかどうか前もって分からない。

